

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2020年2月14日 提出
【発行者名】	農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 吉田 一生
【本店の所在の場所】	東京都千代田区平河町二丁目7番9号
【事務連絡者氏名】	田原 輝行
【電話番号】	03-5210-8500
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	発行価額の総額 上限1兆円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

（１）【ファンドの名称】

農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S&P500

（以下「ファンド」という場合があります。）

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託（振替内国投資信託受益権）

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（11）振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託者である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の依頼により、信用格付業者（金融商品取引法第2条第36項に規定する信用格付業者をいう。以下同じ。）から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付（金融商品取引法第2条第34項に規定する信用格付をいう。以下同じ。）又は信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

1兆円を上限とします。

（４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額[※]とします。

※ 基準価額とは、信託財産の純資産総額を計算日における受益権総口数で除した1口当りの価額をいいます。基準価額は、組入有価証券等の値動きなどにより日々変動します。

なお、基準価額は、便宜上、1万口当りに換算した価額で表示する場合があります。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社^{（注）}に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
＜フリーダイヤル＞0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
＜ホームページアドレス＞<http://www.ja-asset.co.jp/>

（注） 委託者、委託者の指定する第一種金融商品取引業者および登録金融機関を総称してまたはそれぞれを「販売会社」ということがあります。（以下同じ。）

なお、販売会社と販売会社以外の第一種金融商品取引業者および登録金融機関が取次契約を結ぶことにより、当ファンドの申し込みを販売会社に取り次ぐ場合があります。

（５）【申込手数料】

申込手数料はかかりません。

（６）【申込単位】

販売会社が個別に定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込単位は、1口の整数倍とします。

（７）【申込期間】

2020年2月15日から2020年8月14日までとします。（継続申込期間）

※ 上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

（８）【申込取扱場所】

当ファンドの申込取扱場所（販売会社）については下記の照会先までお問い合わせください。

■照会先

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口 <フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで） <ホームページアドレス> http://www.ja-asset.co.jp/

（９）【払込期日】

取得申込者は、申込代金[※]を販売会社の指定する日までに販売会社に支払うものとします。

振替受益権に係る各取得申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に販売会社により委託者である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の指定する口座を經由して、受託者である三菱UFJ信託銀行株式会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

※ 「申込代金」とは、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数）に販売会社が個別に定める申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額を加算した額をいいます。

（１０）【払込取扱場所】

上記「（８）申込取扱場所」に同じです。

受益権の取得申込者は、申込代金を販売会社において支払うものとします。

（１１）【振替機関に関する事項】

ファンドの受益権に係る振替機関は下記の通りです。

株式会社 証券保管振替機構

（１２）【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、S & P 500 指数（当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

一般社団法人 投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下のとおりです。

商品分類：追加型投信／海外／株式／インデックス型

属性区分：その他資産（投資信託証券：株式（一般））／年1回／北米／ファミリーファン
ド／為替ヘッジなし／その他指数（S & P 500 指数（当社円換算ベース））

※ 属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

○商品分類および属性区分 一覧表

（当ファンドが該当する部分を網掛け表示しています。定義などの詳細については、一般社団法人 投資信託協会のホームページ<<http://www.toushin.or.jp/>>をご覧ください。）

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 （収益の源泉）	補足分類
単位型投信	国内	株式	インデックス型
		債券	
追加型投信	海外	不動産投信	特殊型
		その他資産（ ）	
	内外	資産複合	

追加型投信：一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。

海外：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

株式：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。

インデックス型：目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

属性区分表

（当ファンドは、ファミリーファンド方式の為、商品分類（表紙）と属性区分における投資対象資産は異なります。）

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	対象インデックス
株式	年1回	グローバル	ファミリー ファンド	(あり)	日経225
一般		日本			
大型株		年2回			
中小型株	欧州				
債券	年4回	アジア		ファンド ・オブ・ ファンズ	(なし)
一般	年6回 (隔月)	オセアニア			
公債		年12回 (毎月)	中南米		
社債	アフリカ				
その他債券	日々	中近東 (中東)	なし		その他 (S&P500指数 (当社円換算ベース))
クレジット属性 ()		エマージング			
不動産投信		その他 ()		資産配分固定型	
その他資産 (投資信託証券：株式(一般))	資産配分変更型				
資産複合 ()					

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

その他 資産：組入れている資産を記載するものとする。

年 1 回：目論見書又は投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。

北 米：目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

ファミリーファンド：目論見書又は投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。）を投資対象として投資するものをいう。

為替ヘッジなし：目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

そ の 他

(S&P500指数)：目論見書又は投資信託約款において、S&P500指数（当社円換算ベース）に連動す（当社円換算ベース）る運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

<信託金の限度額>

委託者は、受託者と合意のうえ、金1兆円を限度として信託金を追加できるものとします。

委託者は、受託者と合意のうえ、上記の限度額を変更することができます。（信託の目的、金額および信託金の限度額（約款第3条））

<ファンドの特色>

ファンドの目的

この投資信託は、S&P500指数（当社円換算ベース）と連動する投資成果をめざして運用を行います。

ファンドの特色

- ① 米国の株式等を主要投資対象とし、「S&P500指数（当社円換算ベース）」の値動きに連動する投資成果を目指して運用を行うインデックスファンドです。

S&P500指数とは

- S&P500指数は、投資情報会社であるS&Pダウ・ジョーンズインデックス社が算出している米国の代表的な株式指数です。
- 米国の証券取引所に上場している代表的な約500銘柄の株価を基に算出しています。
- S&P500指数に採用されている銘柄の時価総額は、米国の株式市場全体の約80%をカバーしており、米国経済の動向を示す代表的な指標として知られています。

S&P500指数の著作権について

- ・ S&P500®（以下「S&P500指数」といいます。）は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC（以下「SPDJI」といいます。）の商品であり、これを利用するライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社に付与されています。
- ・ Standard & Poor's®およびS&P®は、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLC（以下「S&P」といいます。）の登録商標です。また、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（以下「Dow Jones」といいます。）の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが農林中金全共連アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。
- ・ 当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P500指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

- ② 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ③ 購入時の手数料、換金時の手数料、信託財産留保額がかからないファンドです。

※ファンドは、S&P500インデックス・マザーファンドを通じて投資を行います。

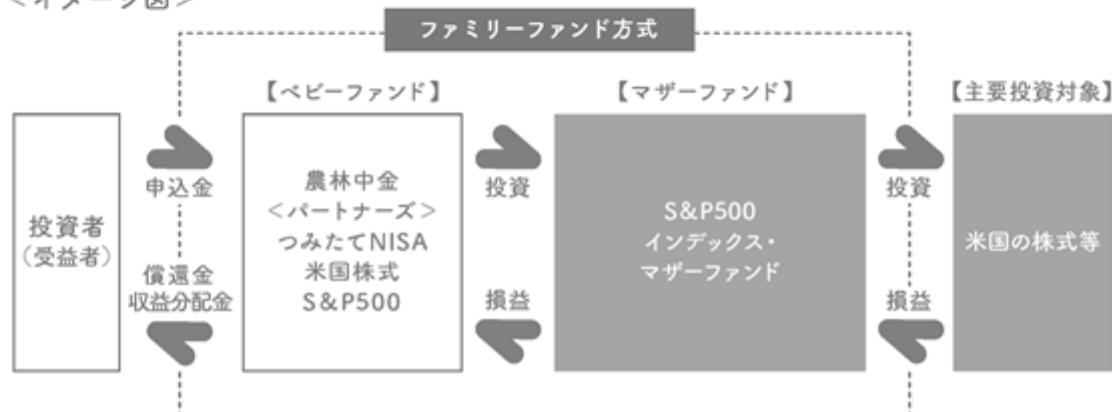
｜ ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。
- 当ファンドは、「S&P500インデックス・マザーファンド」への投資を通じて、米国の株式等を実質的な投資を行います。

【ご参考】ファミリーファンド方式とは

- ・ファミリーファンド方式とは、複数の投資信託の資金をまとめて、「マザーファンド（親投資信託）」と呼ばれる投資信託に投資し、マザーファンドが株や債券などの資産に投資する仕組みのことです。
- ・一般の投資家は「ベビーファンド」と呼ばれるファンドを購入し、ベビーファンドはマザーファンドに対して投資を行います。

<イメージ図>



｜ 主な投資制限

- マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。
- 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

｜ 分配方針

毎年11月15日（休日の場合は翌営業日）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※なお、当ファンドは信託財産の成長を優先するため、収益の分配を行わない場合があります。

資金動向・市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

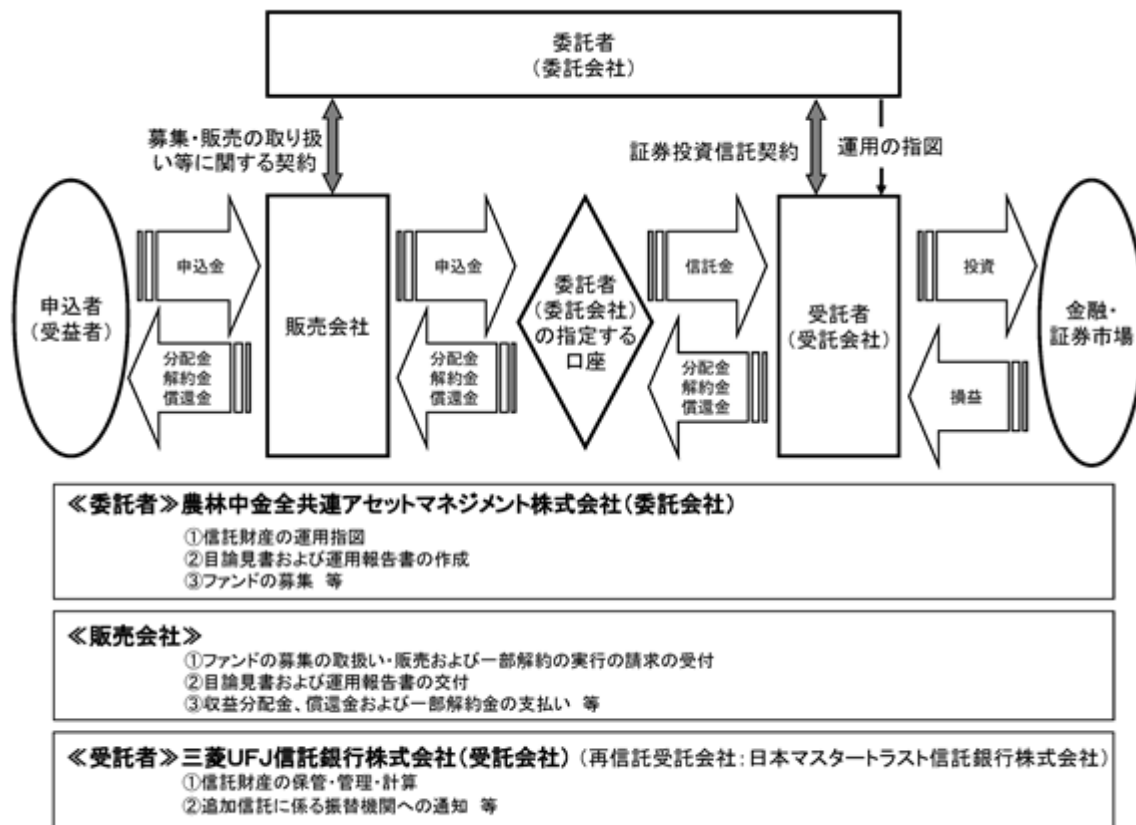
（2）【ファンドの沿革】

2017年12月1日 有価証券届出書の提出

2017年12月18日 募集開始日

2017年12月19日 信託契約締結日、ファンドの設定、運用開始日

（３）【ファンドの仕組み】



委託者（委託会社）の概況（2019年12月30日現在）

- ① 資本金の額
34億2千万円
- ② 沿革
 1993年9月28日 農中投信株式会社設立 資本金15億円
 10月8日 証券投資信託委託業の免許取得
 10月13日 営業開始
 1996年8月20日 投資顧問業務の登録
 9月30日 投資一任業務認可取得
 10月1日 エヌケイユー投資顧問株式会社と合併し、同日付で「農中投信投資顧問株式会社」へ商号変更 資本金19億2千万円
 2000年10月1日 「農林中金全共連アセットマネジメント株式会社」へ商号変更
 2007年9月30日 金融商品取引業の登録
 2012年7月26日 A種種類株式15,000株を発行し15億円増資（資本金34億2千万円）

③ 大株主の状況

株主名	住所	持株数 (株)	持株比率 (%)
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1丁目13番2号	19,550	36.61
全国共済農業協同組合連合会	東京都千代田区平河町2丁目7番9号	18,850	35.30
農中信託銀行株式会社	東京都千代田区内神田1丁目1番12号	15,000	28.09

（注）農林中央金庫及び全国共済農業協同組合連合会が保有する株式はすべて普通株式であり、農中信託銀行株式会社が保有する株式はすべて議決権を有しないA種種類株式です。

なお、議決権保有比率の状況は次のとおりです。

農林中央金庫	50.91%
全国共済農業協同組合連合会	49.09%

2【投資方針】

（1）【投資方針】

a．基本方針（運用の基本方針）※

当ファンドは、S & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

※ 「運用の基本方針」および「約款第〇条」とは、信託約款の条項等と対応しております。（以下同じ。）

b．運用方法

① 投資対象

S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等に直接投資することがあります。

② 投資態度

（イ）S & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）をベンチマークとし、S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等を実質的に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

（ロ）マザーファンド受益証券への投資割合は、原則として高位に保ちます。

（ハ）ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。

（ニ）実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

（ホ）資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（2）【投資対象】

a．投資の対象とする資産の種類（約款第15条）

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

① 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第22条、第23条および第24条に定めるものに限りします。）

ハ．金銭債権

ニ．約束手形

② 次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

b．運用の指図範囲等（約款第16条第1項から第3項）

① 委託者は、信託金を、主として農林中金全共連アセットマネジメント株式会社を委託者とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結されたS & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

1．株券または新株引受権証書

2．国債証券

3．地方債証券

4．特別の法律により法人の発行する債券

5．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）

6．資産の流動化に関する法律に規定する特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）

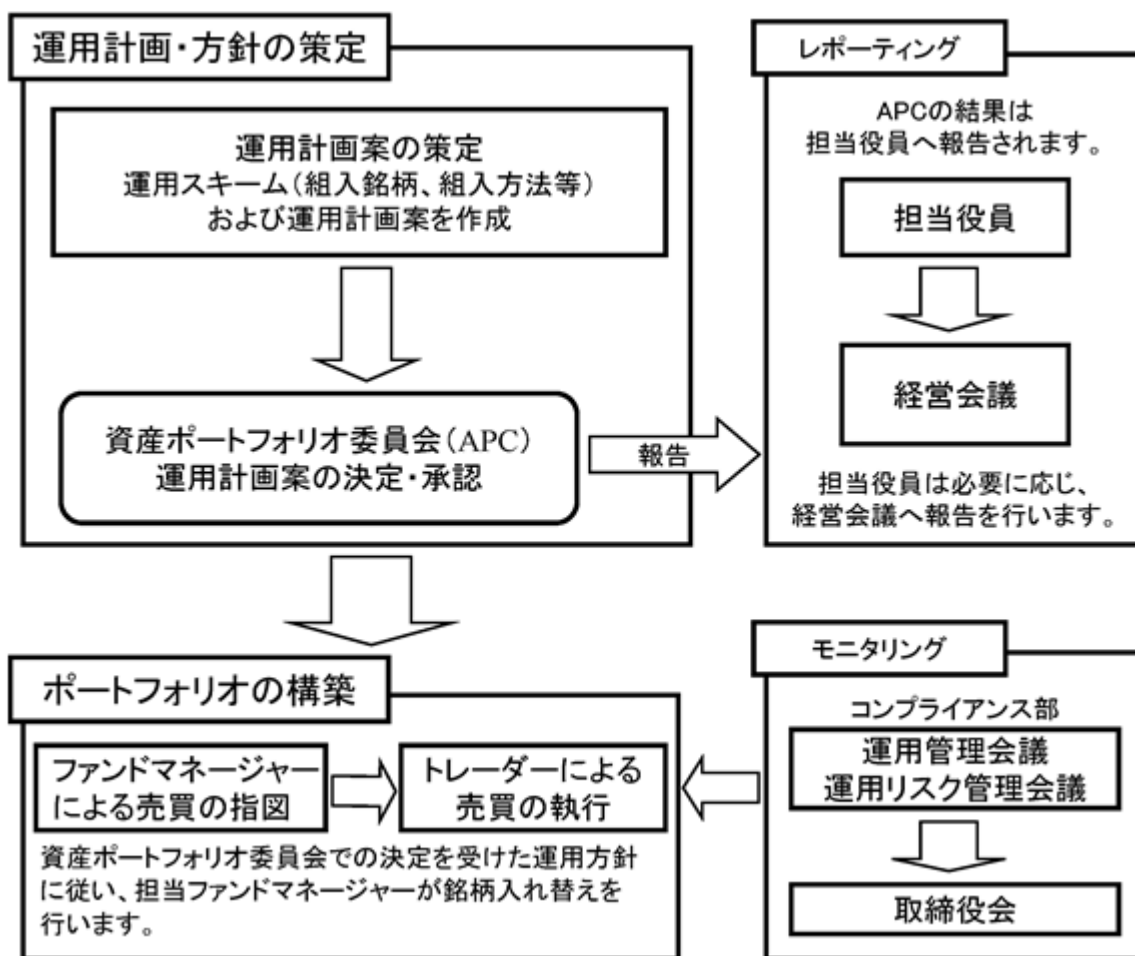
7．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第2条第1項第6号で定めるものをいいます。）

8. 協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第2条第1項第7号で定めるものをいいます。）
 9. 資産の流動化に関する法律に規定する優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第2条第1項第8号で定めるものをいいます。）
 10. 資産の流動化に関する法律に規定する受益証券（金融商品取引法第2条第1項第13号で定めるものをいいます。）
 11. コマーシャル・ペーパー
 12. 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 13. 外国または外国の者の発行する証券または証書で第1号から第12号（上記1. ～12. ）までの証券または証書の性質を有するもの
 14. 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
 15. 投資証券、新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
 16. 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
 17. オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
 18. 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
 19. 外国法人が発行する譲渡性預金証書
 20. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
 21. 抵当証券（金融商品取引法第2条第1項第16号で定めるものをいいます。）
 22. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
 23. 外国の者に対する権利で第22号（上記22. ）の有価証券の性質を有するもの
- なお、第1号（上記1. ）の証券または証書および第13号（上記13. ）ならびに第18号（上記18. ）の証券または証書のうち第1号（上記1. ）の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、第2号から第6号（上記2. から上記6. ）までの証券および第13号ならびに第18号（上記13. ならびに上記18. ）の証券または証書のうち第2号から第6号（上記2. から上記6. ）までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、第14号（上記14. ）の証券および第15号（上記15. ）の証券（新投資口予約権証券を除きます。）を以下「投資信託証券」といいます。
- ② 委託者は、信託金を、第1項（上記①）に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。以下本条において同じ。）により運用することを指図することができます。
 1. 預金
 2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 3. コール・ローン
 4. 手形割引市場において売買される手形
 5. 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
 6. 外国の者に対する権利で前号（上記5. ）の権利の性質を有するもの
 - ③ 第1項（上記①）の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を第2項（上記②）に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

（3）【運用体制】

1. 運用体制

農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S＆P500は、以下の投資プロセスに基づいた組織的運用を行います。



＜資産ポートフォリオ委員会（APC）＞

原則月1回以上開催し、ファンドの運用計画を決定（承認）します。

2. ファンドの運用に携わる人員等

部署	人員
運用部	45名程度 （うち 投資判断に携わる者 30名程度）
トレーディング部	10名程度
コンプライアンス部	10名程度

3. ファンドの関係者に対する管理体制等

委託者は、ファンドの関係法人である受託会社について、その財務状況、管理体制、法令遵守体制等について定期的にモニタリングを行うとともに、必要に応じ適宜ヒアリング等を実施します。

※ 運用体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（4）【分配方針】

a. 収益分配方針（運用の基本方針 3. 収益分配方針）

毎決算時（原則として毎年11月15日。各々休業日に該当する場合は翌営業日となります。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

① 分配対象額の範囲

経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

② 分配対象額についての分配方針

収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

③ 留保益の運用方針

留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

※なお、当ファンドは信託財産の成長を優先するため、収益の分配を行わない場合があります。

b. 収益の分配方式（約款第40条）

① 投資信託財産から生じる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

1. 配当金、利子、貸付有価証券に係る品賃料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額（以下「配当等収益」といいます。）は、諸経費、監査費用、当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後、その残額を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
2. 売買損益に評価損益を加減した利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

② 毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

c. 収益分配金の再投資等

- ① 収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に、原則として決算日から起算して5営業日までに、支払いを開始するものとします。
- ② 「分配金再投資コース」をお申し込みの場合は、収益分配金は税引き後無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

（5）【投資制限】

a. マザーファンドへの投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。

b. 株式への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

株式への実質投資割合には、制限を設けません。

c. 外貨建資産への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

d. 外国為替予約取引への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

e. デリバティブ取引への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

f. 新株引受権証券および新株予約権証券への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第16条第4項および6項）

委託者は、投資信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の20を超えないこととなる投資の指図をしません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

g. 投資信託証券への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第16条第5項および6項）

委託者は、投資信託財産に属する投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

上記において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

h. 同一銘柄の新株引受権証券等への投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第20条）

① 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該新株引受権証券および新株予約権証券の時価総額のうち、投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。

② 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の時価総額とマザーファンドの投資信託財産に属する当該転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債の時価総額のうち投資信託財産に属するとみなした額との合計額が、投資信託財産の純資産総額の100分の10を超えることとなる投資の指図をしません。

③ 前各項（上記①②）において投資信託財産に属するとみなした額とは、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額に、マザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める当該各資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。

i. 先物取引等の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第22条）

① 委託者は、わが国の取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引はオプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。

② 委託者は、わが国の取引所における通貨に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における通貨に係るこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

③ 委託者は、わが国の取引所における金利に係る先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における金利に係るこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

j. スワップ取引の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第23条）

① 委託者は、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。

② スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。

③ スワップ取引の指図にあたっては、当該投資信託財産に係るスワップ取引の想定元本の合計額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。なお、投資信託財産の一部解

約等の事由により、上記純資産総額が減少して、スワップ取引の想定元本の合計額が投資信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当するスワップ取引の一部の解約を指図するものとします。

- ④ スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利などをもとに算出した価額で評価するものとします。
- ⑤ 委託者は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

k. 金利先渡し取引および為替先渡し取引の運用指図（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限、約款第24条）

- ① 委託者は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うことの指図をすることができます。
- ② 金利先渡し取引および為替先渡し取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として約款第4条に定める信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- ③ 金利先渡し取引および為替先渡し取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- ④ 委託者は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うにあたり担保の提供あるいは受け入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受け入れの指図を行うものとします。

l. デリバティブ取引等に係る投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。

m. 信用リスク集中回避のための投資制限（運用の基本方針 2. 運用方法（3）投資制限）

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

n. 投資する株式等の範囲（約款第19条）

- ① 委託者が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。
- ② 第1項（上記①）の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては、委託者が投資することを指図することができるものとします。

o. 信用取引の指図範囲（約款第21条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引き渡しまたは買い戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- ② 第1項（上記①）の信用取引の指図は、次の各号に掲げる有価証券の発行会社の発行する株券について行うことができるものとし、かつ次の各号に掲げる株券数の合計数を超えないものとします。
 - 1. 投資信託財産に属する株券および新株引受権証券の権利行使により取得する株券
 - 2. 株式分割により取得する株券
 - 3. 有償増資により取得する株券
 - 4. 売り出しにより取得する株券
 - 5. 投資信託財産に属する転換社債の転換請求および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）の行使により取得可能な株券
 - 6. 投資信託財産に属する新株引受権証券および新株引受権付社債券の新株引受権の行使、または投資信託財産に属する新株予約権証券および新株予約権付社債券の新株予約権（第5号（上記5.）に定めるものを除きます。）の行使により取得可能な株券

p. 有価証券の貸付の指図および範囲（約款第25条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用に資するため、投資信託財産に属する株式および公社債を第1号および第2号（下記1. および2.）の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 1. 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、投資信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 2. 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、投資信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- ② 第1項第1号および第2号（上記①1. および2.）に定める限度額を超えることとなった場合には、委託者は、速やかにその超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- ③ 委託者は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

q. 特別の場合の外貨建有価証券への投資制限（約款第26条）

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

r. 外国為替予約の指図および範囲（約款第27条）

- ① 委託者は、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- ② 第1項（上記①）の予約取引の指図は、投資信託財産に係る為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、投資信託財産に属する外貨建資産とマザーファンドの投資信託財産に属する外貨建資産のうち投資信託財産に属するとみなした額（投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの投資信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額をいいます。）との合計額について、為替変動リスクを回避するために行う当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- ③ 第2項（上記②）の限度額を超えることとなった場合には、委託者は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

s. 一部解約の請求および有価証券の売却等の指図（約款第31条）

委託者は、投資信託財産に属するマザーファンドの受益証券に係る投資信託契約の一部解約の請求および投資信託財産に属する有価証券の売却等の指図ができます。

t. 再投資の指図（約款第32条）

委託者は、前条（s.）の規定によるマザーファンドの受益証券の一部解約金、有価証券の売却代金、有価証券に係る償還金等、株式の清算分配金、有価証券等に係る利子等、株式の配当金およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

u. 資金の借入れ（約款第33条）

- ① 委託者は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図を行うことができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- ② 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間、または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間、もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。
- ③ 収益分配金の再投資に係る借入期間は、投資信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- ④ 借入金の利息は投資信託財産中より支弁します。

v. デリバティブ取引に係る制限（金融商品取引法第42条の2第7号、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）

委託者は、運用財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ金融商品取引業者等が定めた合理的な方法により算出した額が当該運用財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券、新投資口予約権証券又はオプションを表示する証券若しくは証書に係る取引及び選択権付債券売買を含む。）を行い、又は継続することを内容とした運用を行わないこととなっております。

w. 同一の法人の発行する株式（投資信託及び投資法人に関する法律第9条及び同法施行規則第20条）

委託者は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権（株主総会において決議をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法（平成17年法律第86号）第879条第3項の規定により議決権を有するものとみなされる株式についての議決権を含む。）の総数が、当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託者に指図しないこととなっております。

(参考)

「S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンドの概要」

運用の基本方針

約款第14条に基づき、委託者の定める運用の基本方針は次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、S & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。

2. 運用方法

(1) 投資対象

米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

- ① S & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）をベンチマークとし、主として米国の株式（DR（預託証券）を含みます。）等に投資することにより、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ② 株式（DR（預託証券）を含みます。）等への投資割合は、原則として高位に保ちます。
- ③ ベンチマークとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の投資比率が投資信託財産の純資産総額を超える場合があります。
- ④ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ⑤ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 投資制限

- ① 株式への投資割合には、制限を設けません。
- ② 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
- ③ 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
- ④ デリバティブ取引は、価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。
- ⑤ 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の20%以内とします。
- ⑥ 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑦ 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。
- ⑧ 同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。
- ⑨ 有価証券先物取引等は、約款第19条の範囲で行います。
- ⑩ スワップ取引は、約款第20条の範囲で行います。
- ⑪ 金利先渡取引および為替先渡取引は、約款第21条の範囲で行います。
- ⑫ デリバティブ取引等については、一般社団法人投資信託協会の規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- ⑬ 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

3【投資リスク】

（1）投資リスク

当ファンドの取得申込者には、慎重に投資判断を行うために、当ファンドの投資目的、リスクおよび留意事項を認識することが求められます。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、**受益者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。また、投資信託は、預貯金と異なります。**

当ファンドが有する主なリスクは以下のとおりです。

① 株価変動リスク

一般に、株式は国内外の景気、政治、経済、社会情勢等の影響を受け、また、個別企業の業績や株式市場全体の動向を反映して価格が大きく変動します。ファンドに組入れている株式の価格が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが投資する企業が業績悪化や倒産等に陥った場合は、その企業の株式の価格が大きく下落しあるいは無価値となるため、ファンドに重大な損失が生じることがあります。

② 為替変動リスク

一般に、外貨建資産は当該通貨の円に対する外国為替相場の変動（円高・円安）の影響を受け、その円換算した価値も変動します。外国為替相場が外貨建資産の当該通貨に対して円高となった場合には、ファンドに組入れている外貨建資産の円換算した価値が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、外国為替相場は外国為替市場の需給、世界各国の投資環境・金利動向のほか各国政府・中央銀行の介入・通貨政策等によって短期間に大きく変動することもありますので、当該通貨に対して極端に円高が進行する場合には、ファンドの基準価額も大きく下落することがあります。

③ 乖離リスク

当ファンドは、S & P 500 指数（当社円換算ベース）との連動性をより高めるよう運用を行いますが、主として次の要因により当該指数の動きと乖離が生じます。

イ. 株式配当金の受取による影響

ロ. 株式売買委託手数料、信託報酬等を負担することによる影響

ハ. 株式等の売買執行価格と取引所終値との乖離による影響

ニ. 株価指数先物取引等を活用した場合、当該先物取引等の価格と当該指数との乖離による影響

ホ. 当該指数との構成銘柄が異なることによる影響

④ カントリーリスク

一般に、外国証券（債券・株式等）は当該国・地域の政治・経済・社会情勢、通貨規制、資本規制等による影響を受けます。当該国・地域の政治・経済・社会情勢の変化により金融・証券市場が混乱した場合には、ファンドに組入れている外国証券の価格が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、一般に新興経済国・発展途上国のカントリーリスクは先進国と比べて高いものとなります。

⑤ 流動性リスク

市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合、有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

また、大口の解約申込があった場合など、解約資金を手当てするためにファンドで保有する有価証券等を大量に換金しなければならないことがあります。その際、市場動向や取引量の状況によっては、当該換金にかかる取引自体が市場実勢を押し下げ、通常よりも不利な状況での取引となり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（2）その他の留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 収益分配金に関する留意点として、以下の事項にご注意ください。

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- S & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）が上昇する場合に基準価額も連動して同程度上昇することを目指していますが、その反面、当該指数が下落する場合には基準価額も連動して同程度下落することとなります。
- たとえば、当該指数が10%上昇する場合に基準価額も10%程度上昇し、逆に当該指数が10%下落する場合に基準価額も10%程度下落するような運用を行います。
- 実質的な株式の組入比率を高位に保つとともに、原則として為替ヘッジ[※]を行わないことから、基準価額は大きく変動することもあります。
- 当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象としている他のベビーファンドにおいて、設定・解約や資産構成の変更等によりマザーファンドの組入の有価証券等に売買が生じた場合、その売買による組入の有価証券等の価格の変化や売買手数料等の負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- これにより、マザーファンドの基準価額が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。
- ※「為替ヘッジ」とは、「為替変動リスク」を軽減するために行う外国為替取引を意味します。

（３）投資リスクに対する管理体制

① フロントにおけるリスク管理体制

フロント部門（運用部）では、担当ファンドマネージャーが、リスクモデルによるトラッキング・エラー（市場全体の動きとファンドが乖離するリスク）の水準を管理しています。また、日々のトラッキング・エラー管理を行い、資産ポートフォリオ委員会では決められた方針の範囲内となるよう、管理を行うとともに、直属管理者が状況をモニタリングしています。

② ミドルにおけるリスク管理体制

ミドル部門（コンプライアンス部）は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行いフロント部門を牽制することにより、受益者の負託に応える適正な運用プロセスを構築しています。

具体的には、不正な取引から顧客の利益を保護し、ファンド運用の適正性を確保する観点から、ファンドが法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しています。

また、信託財産の運用者として、適切なファンドの運用責任を果たす観点から、市場リスクをはじめとする各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しています。

〔運用管理会議〕

原則として月１回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）や運用計画の遵守状況について報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

〔運用リスク管理会議〕

原則として月１回開催し、運用リスクや運用パフォーマンスの状況について報告・審議を行います。その結果は取締役会に報告されます。

※ 投資リスクに対する管理体制は、本書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

〔参考情報〕

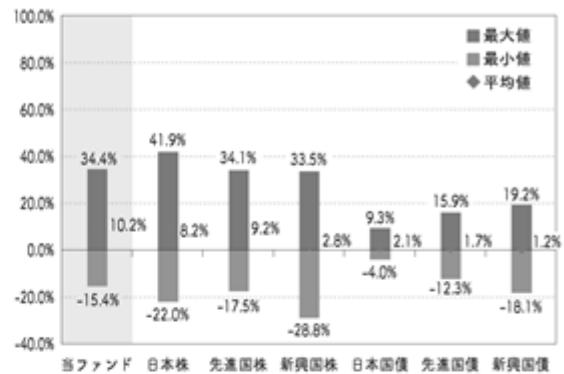
当ファンドの年間騰落率及び
分配金再投資基準価額の推移

*2015年1月～2019年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率及び分配金再投資基準価額の推移について表示したものです。

なお、2018年11月までは、ベンチマークの騰落率を表示しております。

*当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額が記載されていますので、実際の基準価額とは異なる場合があります。

当ファンドと他の代表的な
資産クラスとの騰落率の比較

*2015年1月～2019年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

なお、2018年11月までの年間騰落率については、当ファンドのベンチマークを用いて算出しております。

*すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス(税引前配当込み、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国国債……FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国国債……FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

●東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●「MSCIコクサイ・インデックス」、「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」、「FTSE新興国市場国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

4【手数料等及び税金】

（１）【申込手数料】

申込手数料はかかりません。

（２）【換金（解約）手数料】

換金（解約）手数料はかかりません。

（３）【信託報酬等】

信託報酬等の額および支弁の方法

- ① 委託者および受託者の信託報酬（消費税等に相当する金額を含みます。）の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年率0.495%（税抜0.45%）の率を乗じて得た額とします。
- ② 上記①の信託報酬は、毎計算期間の最初の６ヵ月終了日（当該終了日が休業日の場合はその翌営業日とします。）および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁するものとし、委託者と受託者との間の配分は以下のとおり（税抜）とします。

（年率）

委託者	販売会社	受託者	合計
0.146%	0.28%	0.024%	0.45%

※ 信託報酬の委託者への配分は、委託した資金の運用への対価です。

※ 信託報酬の販売会社への配分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等への対価です。これらの業務に対する代行手数料は、委託者が一旦収受した後、販売会社に対して支払うものとし、また、委託者による直接募集に係る部分は販売会社配分相当額を委託者が収受します。

※ 信託報酬の受託者への配分は、運用財産の管理、委託者からの指図の実行への対価です。

（４）【その他の手数料等】

- ① 信託財産の組入有価証券を売買する際に発生する売買委託手数料、当該売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額および先物取引・オプション取引等に要する費用および外国における資産の保管時に要する費用は、信託財産中から支弁します。
- ② 信託財産に関する租税および信託財産の財務諸表の監査に要する監査費用[※]（消費税等に相当する金額を含みます。）等の信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立て替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
※ 監査法人等に支払う監査費用は計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に一定率（年率0.0033%（税抜0.003%））を乗じて計算し、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
- ③ 委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、信託財産において一部解約金の支払資金に不足額が生じるときは、資金借り入れの指図をすることができます。借入金の利息は信託財産中から支弁します。
- ④ その他の手数料等については、運用状況等により変動するものであり、監査費用を除き、事前に料率、上限額等を表示することができません。

（１）から（４）の手数料等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

① 個人の受益者に対する課税

○収益分配金に対する課税

公募株式投資信託の分配金（普通分配金のみ）については、税率20.315%（所得税15.315%[※]、地方税5%）が適用されます。（原則として確定申告不要です。）

確定申告を行い、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

○一部解約時・償還時における課税

公募株式投資信託の一部解約・償還による譲渡益（解約価額、償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料にかかる消費税等相当分を含みます。）を控除した差益額）については、税率20.315%（所得税15.315%[※]、地方税5%）が適用されます。（源泉徴収ありの特定口座は、原則として確定申告不要です。）

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

○損益通算について

一部解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限りまゝ。）ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

○少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

② 法人の受益者に対する課税

法人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税15.315%[※]、地方税の源泉徴収はありません。）の税率で源泉徴収され法人の受取額となります。

※ 2013年1月1日から2037年12月31日までの間、所得税の税率には復興特別所得税（0.315%）が含まれます。

収益分配金のうち、所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）には課税されません。なお、税額控除が適用されます。益金不算入制度の適用はありません。

＜個別元本について＞

- ① 追加型株式投資信託について、各受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
- ② 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行う都度、当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- ③ ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については、各販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数の支店等で同一ファンドを取得する場合は、当該支店等毎に個別元本の算出が行われることがあります。
- ④ 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の＜収益分配金の課税について＞をご参照ください。）

＜収益分配金の課税について＞

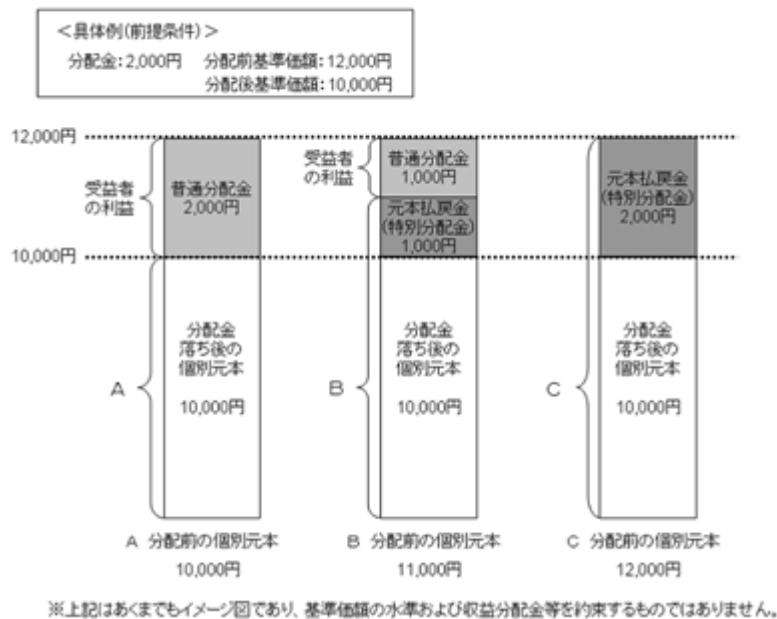
追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者の元本の払い戻しに相当する部分）の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、①当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額または当該受益者の個別元本を上回る場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、②当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回る場合には、その下回

る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した残額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

＜収益分配時の個別元本のイメージ図＞



(注意)

- 当ファンドは、一定の条件に該当する場合の少額貯蓄非課税制度（マル優制度）の対象とはなっていません。
- 販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。
- 外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- 法人受益者に対する課税方法、税額控除に関する事項は法人の形態により異なることもありますので、販売会社に確認のうえ処理してください。
- 税制が改正された場合等には、上記の内容（2019年12月30日現在）が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署等へお問い合わせください。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

2019年12月30日現在の運用状況は、以下のとおりです。

表示単位未満の端数が生じる場合には、金額は各々切り捨て、比率は各々四捨五入により記載しております。したがって、表示の合計値が個別数値と一致しない場合もあります。

なお、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S&P500

（１）【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	2,559,475,350	99.96
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	949,688	0.04
合計(純資産総額)		2,560,425,038	100.00

（２）【投資資産】**①【投資有価証券の主要銘柄】****イ.評価額上位銘柄明細**

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (％)
1	日本	親投資信託 受益証券	S & P 5 0 0 インデックス・マ ザーファンド	2,120,702,088	1.1419	2,421,629,715	1.2069	2,559,475,350	99.96

ロ.種類別投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.96
合計	99.96

②【投資不動産物件】

該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末（2018年11月15日）	2,064,631,042	2,064,631,042	10,221	10,221
第2計算期間末（2019年11月15日）	2,402,321,211	2,402,321,211	11,313	11,313
2018年12月末日	1,870,703,322	—	9,215	—
2019年 1月末日	1,984,786,745	—	9,742	—
2月末日	2,114,291,321	—	10,339	—
3月末日	2,143,987,151	—	10,446	—
4月末日	2,251,190,807	—	10,941	—
5月末日	2,112,856,870	—	10,217	—
6月末日	2,194,059,672	—	10,567	—
7月末日	2,289,233,099	—	10,975	—
8月末日	2,192,185,859	—	10,455	—
9月末日	2,263,648,361	—	10,740	—
10月末日	2,362,989,595	—	11,151	—
11月末日	2,476,602,183	—	11,625	—
12月末日	2,560,425,038	—	11,951	—

②【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第1計算期間末	2017年12月19日～2018年11月15日	0
第2計算期間末	2018年11月16日～2019年11月15日	0

③【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第1計算期間末	2017年12月19日～2018年11月15日	2.2
第2計算期間末	2018年11月16日～2019年11月15日	10.7

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間末	2017年12月19日～2018年11月15日	2,020,140,362	171,523	2,019,968,839
第2計算期間末	2018年11月16日～2019年11月15日	106,835,467	3,388,100	2,123,416,206

(注) 第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

（参考）

S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	3,346,876,028	89.98
	パナマ	2,749,996	0.07
	オランダ	4,591,558	0.12
	アイルランド	86,411,796	2.32
	イギリス	8,641,296	0.23
	スイス	15,637,212	0.42
	リベリア	3,067,603	0.08
	バミューダ	8,145,276	0.22
	キュラソー	7,410,638	0.20
	ジャージー	5,666,308	0.15
	英ヴァージン諸島	760,680	0.02
	小計	3,489,958,391	93.83
投資証券	アメリカ	101,598,648	2.73
	小計	101,598,648	2.73
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	127,996,566	3.44
合計(純資産総額)		3,719,553,605	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	88,677,864	2.38

（注）先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

順位	国／地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	9,319	16,224.54	151,196,500	17,415.65	162,296,513	4.36
2	アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5,102	28,774.83	146,809,225	31,750.48	161,990,989	4.36
3	アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	509	192,254.59	97,857,588	204,855.28	104,271,341	2.80
4	アメリカ	株式	FACEBOOK INC-A	メディア・娯楽	2,940	21,167.89	62,233,623	22,799.43	67,030,341	1.80
5	アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	2,389	24,034.04	57,417,326	24,775.89	59,189,621	1.59

6	アメリカ	株式	JP MORGAN CHASE & CO	銀行	3,832	14,089.41	53,990,642	15,244.17	58,415,691	1.57
7	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	366	143,455.67	52,504,778	148,414.35	54,319,655	1.46
8	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	365	143,683.55	52,444,498	148,113.06	54,061,269	1.45
9	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3,215	14,350.03	46,135,378	15,968.36	51,338,309	1.38
10	アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	2,091	19,693.40	41,178,920	20,749.56	43,387,347	1.17
11	アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	3,046	13,202.15	40,213,766	13,814.42	42,078,724	1.13
12	アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	5,169	7,505.51	38,796,003	7,657.14	39,579,800	1.06
13	アメリカ	株式	AT&T INC	電気通信サービス	8,924	4,267.45	38,082,770	4,299.13	38,365,475	1.03
14	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	9,890	3,582.61	35,432,032	3,872.94	38,303,435	1.03
15	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	1,157	28,042.66	32,445,369	32,426.47	37,517,429	1.01
16	アメリカ	株式	MASTERCARD INCORPORATED	ソフトウェア・サービス	1,084	30,636.26	33,209,708	32,949.07	35,716,796	0.96
17	アメリカ	株式	THE WALT DISNEY CO.	メディア・娯楽	2,202	16,121.63	35,499,839	15,968.36	35,162,350	0.95
18	アメリカ	株式	INTEL CORP	半導体・半導体製造装置	5,314	6,333.66	33,657,088	6,582.36	34,978,686	0.94
19	アメリカ	株式	VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	5,052	6,502.42	32,850,264	6,741.22	34,056,677	0.92
20	アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	1,333	25,916.41	34,546,585	24,099.91	32,125,184	0.86
21	アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3,110	9,263.29	28,808,856	10,024.73	31,176,941	0.84
22	アメリカ	株式	CHEVRONTExaco CORP	エネルギー	2,310	13,361.93	30,866,075	13,180.06	30,445,957	0.82
23	アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6,760	4,005.73	27,078,772	4,307.89	29,121,398	0.78
24	アメリカ	株式	COCA-COLA COMPANY	食品・飲料・タバコ	4,711	5,767.68	27,171,569	6,064.14	28,568,191	0.77
25	アメリカ	株式	WELLS FARGO & COMPANY	銀行	4,702	5,860.36	27,555,433	5,907.47	27,776,948	0.75
26	アメリカ	株式	COMCAST CORP-CL A	メディア・娯楽	5,546	4,978.79	27,612,383	4,941.15	27,403,651	0.74
27	アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5,182	4,921.20	25,501,704	5,233.68	27,120,935	0.73
28	アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	1,703	14,608.22	24,877,814	15,068.88	25,662,306	0.69
29	アメリカ	株式	BOEING CO	資本財	653	40,236.88	26,274,689	36,170.13	23,619,100	0.63
30	アメリカ	株式	CITIGROUP INC	銀行	2,667	8,089.91	21,575,791	8,728.64	23,279,296	0.63

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内／外国	業種	投資比率 (%)
株式	外国	エネルギー	4.17
		素材	2.55
		資本財	6.21
		商業・専門サービス	0.70
		運輸	1.85
		自動車・自動車部品	0.44
		耐久消費財・アパレル	1.13
		消費者サービス	1.82
		メディア・娯楽	8.01
		小売	6.05
		食品・生活必需品小売り	1.48
		食品・飲料・タバコ	3.66
		家庭用品・パーソナル用品	1.82
		ヘルスケア機器・サービス	6.32
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.41
		銀行	5.43
		各種金融	4.84
		保険	2.22
		不動産	0.07
		ソフトウェア・サービス	12.09
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.21
		電気通信サービス	2.08
		公益事業	3.18
		半導体・半導体製造装置	4.09
投資証券	外国	—	2.73
合計			96.56

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建／ 売建	数量	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額	評価額 (円)	投資比率 (%)
株価指数先物取引	アメリカ	シカゴ商業取引所	S&P MIN 2003	買建	5	米ドル	793,762.5	86,964,620	809,400	88,677,864	2.38

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

＜参考情報＞

交付目論見書の運用実績（2019年12月末現在）

2019年12月末現在

基準価額・純資産の推移



・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資して算出。

分配の推移

決算期／年月日		分配金
1期	2018年11月15日	0円
2期	2019年11月15日	0円
設定来累計		0円

・分配金のデータは、1万口当たり、税引前の金額です。

主要な資産の状況

農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S&P500

《資産の組入比率》

資産の種類	組入比率（％）
S&P500インデックス・マザーファンド	100.0
短期資産等	0.0

S&P500インデックス・マザーファンド

《組入上位銘柄》

	銘柄名	国名	通貨	業種	組入比率（％）
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	4.4
2	APPLE INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.4
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	米ドル	小売	2.8
4	FACEBOOK INC-A	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.8
5	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	米ドル	各種金融	1.6
6	JP MORGAN CHASE & CO	アメリカ	米ドル	銀行	1.6
7	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.5
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.5
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	米ドル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.4
10	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.2

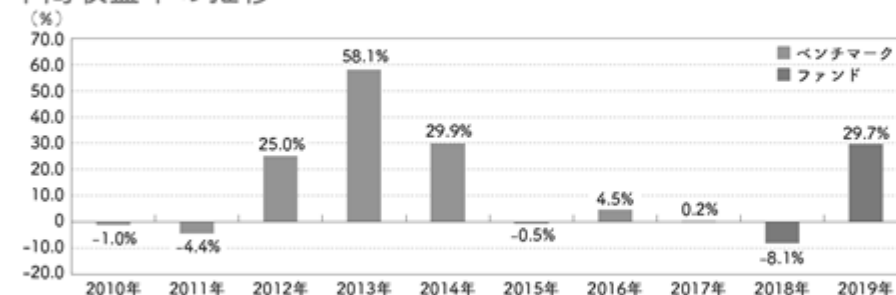
・組入比率は、各ファンドの純資産総額に対する比率です。

・短期資産等は、コール・ローン、CP、CD、未収金、未払金等が含まれます。

《組入上位業種》

	上位業種	組入比率（％）
1	ソフトウェア・サービス	12.1
2	メディア・娯楽	8.0
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.4
4	ヘルスケア機器・サービス	6.3
5	資本財	6.2
6	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.2
7	小売	6.1
8	銀行	5.4
9	各種金融	4.8
10	エネルギー	4.2

年間収益率の推移



・ベンチマークはS&P500指数（当社円換算ベース）です。

・ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出。

・2016年以前は、ベンチマークの収益率を表示。

・2017年は設定日（12月19日）から年末までの騰落率、2019年は1月から12月までの騰落率を表示。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ベンチマークはあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。

※最新の運用実績は、農林中金全共連アセットマネジメントのホームページでご確認いただけます。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

（1）申込期間

当ファンドは、原則として継続申込期間中の販売会社の営業日に受益権の募集が行われます。

※ 継続申込期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

（2）取得申込

（イ）当ファンドの取得申込の受付時間は、原則として午後3時までとなります。（ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合もありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）

取得申込の受け付けは、販売会社の営業日に限り行われます。

（ロ）委託者は、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、取得申込の受け付けを行いません。申込受付不可日については、委託者または販売会社にお問い合わせください。

また、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた取得申込を取り消す場合があります。

（ハ）取得申込の際、「分配金受取コース」もしくは「分配金再投資コース」のいずれかをお申し出ください。なお、販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。

（ニ）「分配金再投資コース」をご利用の場合、取得申込者は、販売会社との間で、「農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S&P500 累積投資規定」に従った分配金再投資に関する契約（「累積投資契約」）を締結します。

（ホ）取得申込者は販売会社に、取得申込と同時にまたは予め当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託者は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託者から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託者は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

（3）申込単位

申込単位は、販売会社が個別に定める単位とします。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込単位は、1口の整数倍とします。

（4）申込手数料

申込手数料はかかりません。

（5）申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

ただし、「分配金再投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申込価額は、各計算期間終了日の基準価額とします。

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><http://www.ja-asset.co.jp/>

2【換金（解約）手続等】

（1）一部解約申込

（イ）受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が個別に定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。委託者は、一部解約の実行の請求を受け付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

また、受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。

（ロ）一部解約の受付時間は、原則として午後3時までとなります。（ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合がありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）※

一部解約の実行の請求の受け付けは、販売会社の営業日に限り行われます。

※ 信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の一部解約の実行の請求の場合は、別途制限を設ける場合があります。

（ハ）委託者は、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、一部解約の実行の請求の受け付けを行いません。

また、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求を取り消す場合があります。

一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者が当該一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとして下記（2）に準じて計算された価額とします。

（ニ）換金の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託者が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

（2）解約価額

解約価額は、一部解約実行の請求日の翌営業日の基準価額となります。

解約価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
<フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
<ホームページアドレス><http://www.ja-asset.co.jp/>

（3）一部解約金の支払い

一部解約金は、受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として6営業日目から受益者に支払います。一部解約金の支払いは、販売会社の営業所等において行うものとします。

上記のほか、販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

a. 基準価額の計算方法（追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法（約款第8条））

基準価額とは、投資信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価または一部償却原価法により評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。））、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における当日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。約款第27条に規定する予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

なお、基準価額は、便宜上、1万口当りに換算した価額で表示することがあります。

b. 主要な投資対象資産の評価方法

ファンドの主要な投資対象資産の評価につきましては、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って、以下のとおり評価しております。

資産の種類	評 価 方 法
親投資信託 受益証券	時価により評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
株式	原則として、時価により評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所または外国金融商品市場における最終相場（最終相場のないものについては、それに準じる価額）もしくは第一種金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。

c. 基準価額の算出頻度等

基準価額は、原則として委託者の営業日において日々算出され、委託者（下記参照）または販売会社に問い合わせることにより知ることができます。

なお、基準価額は日本経済新聞に掲載されます。（ファンド名の表示は「つみ米株SP」です。）

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のお問い合わせ窓口
 <フリーダイヤル>0120-439-244（営業日の午前9時から午後5時まで）
 <ホームページアドレス><http://www.ja-asset.co.jp/>

（2）【保管】

該当事項はありません。

（3）【信託期間】

信託期間（約款第4条）

この信託の期間は、無期限（信託契約締結日から約款第47条第1項、第48条第1項、第49条第1項および第51条第2項の規定による信託終了の日まで）とします。

（4）【計算期間】

信託の計算期間（約款第36条）

a. この信託の計算期間は、毎年11月16日から翌年11月15日までとすることを原則とします。

ただし、第1計算期間は信託契約締結日から2018年11月15日までとします。

b. 上記a.の規定にかかわらず、上記a.の原則により各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のときは、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

ただし、最終計算期間の終了日は、約款第4条に定める信託期間の終了日とします。

（5）【その他】

a. 信託期間の終了

下記の信託約款の条項に規定する場合は、信託期間終了日前に信託契約を解約し、当該信託を終了させる場合があります。

(イ) 信託契約の解約（約款第47条）

- ① 委託者は、約款第4条の規定による信託終了前に、信託契約の一部を解約することにより受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- ② 委託者は、上記①の事項について、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 上記②の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 上記②の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 上記②から④までの規定は、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合、または委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

(ロ) 信託契約に関する監督官庁の命令（約款第48条第1項）

委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令に従い、この信託契約を解約し信託を終了させます。

(ハ) 委託者の登録取り消し等に伴う取り扱い（約款第49条）

- ① 委託者が監督官庁より登録の取り消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。
- ② 上記①の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託会社引き継ぐことを命じたときは、この信託は、約款第52条第2項の書面決議において否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託者との間において存続します。

(二) 受託者の辞任および解任に伴う取り扱い（約款第51条）

- ① 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、約款第52条の規定に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。
- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

b. 約款の変更

約款の変更は、信託約款の下記の条項により行うものとします。

(イ) 信託契約に関する監督官庁の命令（約款第48条第2項）

委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、約款第52条の規定にしたがいます。

(ロ) 信託約款の変更等（約款第52条）

- ① 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- ② 委託者は、上記①の事項（上記①の変更事項にあっては、その変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあってはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 上記②の書面決議において、受益者（委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。以下本項において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 上記②の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ⑥ 上記②から上記⑤までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- ⑦ 上記①から上記⑥の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

c. その他の契約の変更

<募集・販売の取扱い等に関する契約>

委託者と販売会社（取次登録金融機関は除きます。）との間の募集・販売の取扱い等に関する契約は当事者の別段の意思表示がない限り、1年ごとに自動的に更新されます。

当契約は、当事者間の合意により変更することができます。

その終了または変更は、必要に応じて運用報告書に記載する等の方法により受益者に対して通知を行う手配をしますが、必ずしも直ちに受益者全員にこれを知らせるものではありません。

d. 運用報告書等

<運用報告書>

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律の規定に基づき当該信託財産の計算期間の末日毎に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて当該信託財産に係る知れている受益者に対して交付します。

運用報告書（全体版）は、委託者のホームページで閲覧できます。なお、受益者から運用報告書（全体版）の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<有価証券報告書および半期報告書>

委託者は、金融商品取引法第24条第1項の規定に基づき有価証券報告書および同法第24条の5第1項の規定に基づき半期報告書を作成し、関東財務局に提出します。

<臨時報告書>

委託者は、金融商品取引法第24条の5第4項の規定に基づき臨時報告書を作成し、関東財務局に提出します。

e. 委託者の事業の譲渡および承継に伴う取り扱い（約款第50条）

- ① 委託者は、事業の全部又は一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
- ② 委託者は、分割により事業の全部又は一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

f. 公告（約款第56条）

委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

g. 信託約款に関する疑義の取り扱い（約款第57条）

信託約款の解釈について疑義が生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

h. 信託事務処理の再信託

受託者は、当ファンドに係る信託事務の処理の一部について、日本マスタートラスト信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

4【受益者の権利等】

受益者は「投資信託及び投資法人に関する法律」ならびに信託約款の規定および本書の記載にしたがい、以下の権利を有するものとします。

（イ）収益分配金に対する請求権

受益者は、持分に応じて収益分配金を請求する権利を有します。

- ① 収益分配金は、毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日（原則として計算期間終了日から起算して5営業日）までに、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払いを開始するものとします。
- ② 収益分配金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとします。
- ③ 委託者は上記①の規定にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者に対しては、受託者が委託者の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が委託者の指定する販売会社に交付されます。この場合、委託者の指定する販売会社は、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付けを行います。当該売付けにより増加した受益権は、約款第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。
- ④ 委託者は上記①の規定にかかわらず、委託者の自らの募集に応じた受益者に帰属する受益権にかかる収益分配金（受益者が自己に帰属する受益権の全部もしくは一部の口数について、委託者に対し、この信託の収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申し込みをしないことをあらかじめ申し出た場合において、委託者が当該申し出を受け付けた受益権にかかる収益分配金を除きます。）をこの信託の受益権の取得申込金として、各受益者ごとに当該収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申し込みに応じたものとします。当該取得申込により増加した受益権は、約款第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。
- ⑤ 上記③および④に基づいて収益分配金を再投資する場合の受益権の価額は、原則として各計算期間終了日の基準価額とします。
- ⑥ 受益者が、収益分配金について支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は委託者に帰属します。

（ロ）償還金に対する請求権

受益者は、持分に応じて償還金を請求する権利を有します。

① 償還金（信託終了時における投資信託財産の純資産総額を受益権総口数で除した額をいいます。以下同じ。）は、信託終了日後1ヵ月以内の委託者の指定する日（原則として償還日（休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日）までに、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としします。）に支払いを開始するものとしします。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

② 償還金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとしします。

③ 受益者が、信託終了による償還金について、支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者より交付を受けた金銭は委託者に帰属します。

（ハ）買戻し（一部解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託者に販売会社が個別に定める単位をもって一部解約の実行を請求することができます。（注）

（注）取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた一部解約の実行の請求を取り消す場合があります。

① 一部解約金は、約款第45条第1項の受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として、6営業日目から当該受益者に支払います。

② 一部解約金の支払い[※]は、販売会社の営業所等において行うものとしします。

（二）反対受益者の受益権買取請求の不適用（約款第53条）

この信託は、受益者が約款第45条の規定による一部解約の実行の請求を行ったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、約款第47条に規定する信託契約の解約または前条に規定する重大な約款の変更等を行う場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

（ホ）投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写請求権（投資信託及び投資法人に関する法律第15条第2項）

受益者は委託者に対し、その営業時間内に当該受益者に係る投資信託財産に関する帳簿書類の閲覧又は謄写を請求することができます。

※ 受託者は、収益分配金については約款第42条第1項に規定する支払開始日までに、償還金については約款第42条第2項に規定する支払開始日までに、一部解約金については約款第42条第3項に規定する支払日までに、その全額を委託者の指定する預金口座等に払い込みます。受託者は、委託者の指定する預金口座等に収益分配金、償還金および一部解約金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。（収益分配金、償還金および一部解約金の払い込みと支払いに関する受託者の免責（約款第41条））

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2期計算期間（2018年 11月16日から2019年 11月15日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

1 【財務諸表】

農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第1期 2018年11月15日現在	第2期 2019年11月15日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,781,345	8,028,488
親投資信託受益証券	2,062,611,404	2,399,858,322
未収入金	4,500,000	289,138
流動資産合計	2,068,892,749	2,408,175,948
資産合計	2,068,892,749	2,408,175,948
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	289,138
未払受託者報酬	224,128	293,108
未払委託者報酬	3,978,191	5,202,680
未払利息	4	16
その他未払費用	59,384	69,795
流動負債合計	4,261,707	5,854,737
負債合計	4,261,707	5,854,737
純資産の部		
元本等		
元本	2,019,968,839	2,123,416,206
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	44,662,203	278,905,005
（分配準備積立金）	44,087,788	273,492,640
元本等合計	2,064,631,042	2,402,321,211
純資産合計	2,064,631,042	2,402,321,211
負債純資産合計	2,068,892,749	2,408,175,948

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第1期 自 2017年12月19日 至 2018年11月15日	第2期 自 2018年11月16日 至 2019年11月15日
営業収益		
受取利息	-	2
有価証券売買等損益	53,077,243	240,195,794
営業収益合計	53,077,243	240,195,796
営業費用		
支払利息	629	934
受託者報酬	475,729	559,234
委託者報酬	8,443,995	9,926,364
その他費用	60,009	70,219
営業費用合計	8,980,362	10,556,751
営業利益又は営業損失（△）	44,096,881	229,639,045
経常利益又は経常損失（△）	44,096,881	229,639,045
当期純利益又は当期純損失（△）	44,096,881	229,639,045
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	9,093	162,574
期首剰余金又は期首欠損金（△）	-	44,662,203
剰余金増加額又は欠損金減少額	574,450	4,842,052
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	574,450	4,842,052
剰余金減少額又は欠損金増加額	35	75,721
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	35	75,721
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（△）	44,662,203	278,905,005

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2.収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		第1期 2018年11月15日現在	第2期 2019年11月15日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	2,000,000,000円	2,019,968,839円
	期中追加設定元本額	20,140,362円	106,835,467円
	期中一部解約元本額	171,523円	3,388,100円
2.	計算期間の末日における受益権の総数	2,019,968,839口	2,123,416,206口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.0221円 (10,221円)	1.1313円 (11,313円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第1期 自 2017年12月19日 至 2018年11月15日	第2期 自 2018年11月16日 至 2019年11月15日
分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益（24,217,511円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（19,870,277円）、信託約款に規定される収益調整金（574,415円）及び分配準備積立金（0円）より、分配対象収益は44,662,203円（一万口当たり221.10円）であります。基準価額水準、市況動向等を勘案し分配は行っておりません。	計算期間末における費用控除後の配当等収益（37,188,271円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（192,288,200円）、信託約款に規定される収益調整金（5,412,365円）及び分配準備積立金（44,016,169円）より、分配対象収益は278,905,005円（一万口当たり1,313.47円）であります。基準価額水準、市況動向等を勘案し分配は行っておりません。

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	第1期 自 2017年12月19日 至 2018年11月15日	第2期 自 2018年11月16日 至 2019年11月15日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権等であります。当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、これらの詳細は、「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っています。ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	同左

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2018年11月15日現在	第2期 2019年11月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

第1期(自 2017年12月19日 至 2018年11月15日)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	53,242,939
合計	53,242,939

第2期(自 2018年11月16日 至 2019年11月15日)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	241,499,142
合計	241,499,142

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

①株式

該当事項はありません。

②株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受 益証券	S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド	2,101,820,216	2,399,858,322	
合計		2,101,820,216	2,399,858,322	

（注1）券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考情報)

当ファンドは、「S & P 500 インデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「S & P 500 インデックス・マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

	2018年11月15日現在	2019年11月15日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	83,899,070	59,729,609
コール・ローン	6,788,858	4,185,632
株式	2,585,457,988	3,299,479,843
投資証券	75,754,593	99,756,294
派生商品評価勘定	650,192	3,536,107
未収配当金	3,993,433	4,388,674
差入委託証拠金	32,889,146	65,190,629
流動資産合計	2,789,433,280	3,536,266,788
資産合計	2,789,433,280	3,536,266,788
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	3,366,442	-
未払金	1,269,223	-
未払解約金	4,500,000	10,289,138
未払利息	16	8
その他未払費用	127	51
流動負債合計	9,135,808	10,289,197
負債合計	9,135,808	10,289,197
純資産の部		
元本等		
元本	2,708,333,412	3,088,193,245
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	71,964,060	437,784,346
元本等合計	2,780,297,472	3,525,977,591
純資産合計	2,780,297,472	3,525,977,591
負債純資産合計	2,789,433,280	3,536,266,788

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。 投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算期間末日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4.収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5.その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2018年11月15日現在	2019年11月15日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2017年12月19日	2018年11月16日
	同期首元本額	1,998,000,000円	2,708,333,412円
	同期中追加設定元本額	719,244,207円	436,957,473円
	同期中一部解約元本額	8,910,795円	57,097,640円
	元本の内訳		
	農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	2,009,167,548円	2,101,820,216円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	155,234,209円	190,493,900円
	農林中金＜パートナーズ＞日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	543,931,655円	761,961,932円
	農林中金＜パートナーズ＞米国株式S&P500インデックスファンド	－円	33,917,197円
	合計	2,708,333,412円	3,088,193,245円
2.	本書における開示対象ファンドの計算期間の末日における受益権の総数	2,708,333,412口	3,088,193,245口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.0266円 (10,266円)	1.1418円 (11,418円)

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	自 2017年12月19日 至 2018年11月15日	自 2018年11月16日 至 2019年11月15日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権等であります。 当ファンドが保有する有価証券は、全て売買目的で保有しており、デリバティブ取引は、ヘッジ目的以外にも利用する場合があります。また、これらの詳細は、「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）有価証券の評価基準及び評価方法、デリバティブ等の評価基準及び評価方法」に記載しております。 当該金融商品は、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、価格変動リスク等に晒されています。	同左
3. 金融商品に係るリスクの管理体制	フロント部門では、ポジションリスク管理及びパフォーマンス管理を行っています。また、決定された運用計画に基づいた運用（あるいはポジション組成）となっているか管理を行っています。 ミドル部門は、ファンド運用状況の日々のモニタリングや定期的なフィードバックを行ないフロント部門を牽制しております。法令等のルールや組織的に決定された運用計画に従って運用されるよう、日常的な管理を行うほか、運用管理会議を開催してこれらの遵守状況を検証しております。また、各種運用リスクとパフォーマンスの計測・管理を行うほか、運用リスク管理会議を開催してこれらの管理状況を検証しております。	同左

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	2018年11月15日現在	2019年11月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 投資証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 先物取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

（自 2017年12月19日 至 2018年11月15日）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	21,238,713
投資証券	2,389,411
合計	23,628,124

（自 2018年11月16日 至 2019年11月15日）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	390,562,803
投資証券	11,445,413
合計	402,008,216

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（株式関連）

（2018年11月15日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	110,078,028	—	107,362,451	△2,715,577
合計		110,078,028	—	107,362,451	△2,715,577

（2019年11月15日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	114,215,288	—	117,734,847	3,519,559
合計		114,215,288	—	117,734,847	3,519,559

（注）時価の算定方法

- 1.先物取引の時価評価については、原則として計算日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
- 2.先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3.契約額等には手数料相当額は含んでおりません。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(通貨関連)

(2018年11月15日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	4,500,000	—	4,500,673	△673
合計		4,500,000	—	4,500,673	△673

(2019年11月15日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	10,000,000	—	9,983,452	16,548
合計		10,000,000	—	9,983,452	16,548

(注) 時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

- ① 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。
- ② 為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 - ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 - ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

①株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	APACHE CORP	457	23.43	10,707.51	
	BAKER HUGHES CO	790	21.89	17,293.10	
	CABOT OIL & GAS CORP	509	17.85	9,085.65	
	CHEVRONTXACO CORP	2,310	121.96	281,727.60	
	CIMAREX ENERGY CO	123	45.17	5,555.91	
	CONCHO RESOURCES INC	245	71.62	17,546.90	
	CONOCO PHILLIPS	1,351	57.25	77,344.75	
	DEVON ENERGY CORP	492	21.84	10,745.28	
	DIAMONDBACK ENERGY INC	198	76.29	15,105.42	
	EOG RESOURCES INC	706	72.35	51,079.10	
	EXXON MOBIL CORPORATION	5,148	68.50	352,638.00	
	HALLIBURTON CO	1,066	20.33	21,671.78	
	HELMERICH & PAYNE	133	39.32	5,229.56	
	HESS CORP	315	67.85	21,372.75	
	HOLLYFRONTIER CORP	184	53.88	9,913.92	
	KINDER MORGAN INC	2,369	20.22	47,901.18	
	MARATHON OIL CORP	978	11.89	11,628.42	
	MARATHON PETROLEUM CORP	801	64.45	51,624.45	
	NATIONAL OILWELL VARCO INC	470	22.09	10,382.30	
	NOBLE ENERGY INC	582	21.51	12,518.82	
	OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	1,088	37.76	41,082.88	
	ONEOK INC	502	70.16	35,220.32	
	PHILLIPS 66	546	119.44	65,214.24	
	PIONEER NATURAL RESOURCES CO	203	132.37	26,871.11	
	SCHLUMBERGER LTD	1,683	34.71	58,416.93	
	TECHNIPFMC PLC	511	19.67	10,051.37	
	VALERO ENERGY	504	100.82	50,813.28	
	WILLIAMS COS INC	1,475	21.95	32,376.25	
	AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	268	238.18	63,832.24	
	ALBEMARLE CORP	129	65.54	8,454.66	
	AMCOR PLC	1,977	9.95	19,671.15	
	AVERY DENNISON CORP	102	131.85	13,448.70	
	BALL CORP	404	65.74	26,558.96	
	CELANESE CORP-SERIES A	151	126.31	19,072.81	

CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	266	46.36	12,331.76	
CORTEVA INC	911	26.38	24,032.18	
DOW INC	904	53.95	48,770.80	
DUPONT DE NEMOUR INC	907	70.00	63,490.00	
EASTMAN CHEMICAL COMPANY	167	79.83	13,331.61	
ECOLAB INC	305	191.76	58,486.80	
FMC CORP	159	97.04	15,429.36	
FREEMONT-MCMORAN INC	1,765	10.81	19,079.65	
INTERNATIONAL PAPER CO	478	45.51	21,753.78	
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	130	133.90	17,407.00	
LINDE PLC	658	208.64	137,285.12	
LYONDELLBASELL INDU-CL A	314	95.88	30,106.32	
MARTIN MARIETTA MATERIALS	76	261.44	19,869.44	
MOSAIC CO/THE	432	20.29	8,765.28	
NEWMONT GOLDCORP CORPORATION	998	37.54	37,464.92	
NUCOR CORP	369	54.49	20,106.81	
PACKAGING CORP OF AMERICA	115	112.92	12,985.80	
PPG INDUSTRIES INC	288	129.75	37,368.00	
SEALED AIR CORP	188	38.28	7,196.64	
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	100	593.45	59,345.00	
VULCAN MATERIALS CO	161	141.59	22,795.99	
WESTROCK CO	313	40.50	12,676.50	
3M CO	700	170.93	119,651.00	
ALLEGION PLC	114	117.19	13,359.66	
AMETEK INC	278	97.00	26,966.00	
ARCONIC INC	471	30.22	14,233.62	
BOEING CO	650	367.44	238,836.00	
CATERPILLAR INC	685	143.44	98,256.40	
CUMMINS INC	192	180.84	34,721.28	
DEERE & CO	383	174.38	66,787.54	
DOVER CORP	177	108.71	19,241.67	
EATON CORP PLC	511	90.89	46,444.79	
EMERSON ELECTRIC CO	748	72.73	54,402.04	
FASTENAL CO	698	36.20	25,267.60	
FLOWERVE CORP	160	48.64	7,782.40	
FORTIVE CORP	359	71.13	25,535.67	
FORTUNE BRANDS HOME&SECURITY INC	170	63.15	10,735.50	
GENERAL DYNAMICS CORP	285	185.19	52,779.15	
GENERAL ELECTRIC CO	10,619	11.29	119,888.51	

HONEYWELL INTERNATIONAL INC	875	179.65	157,193.75	
HUNTINGTON INGALLS INDUSTRIES	50	255.40	12,770.00	
IDEX CORP	92	161.74	14,880.08	
ILLINOIS TOOL WORKS	358	173.66	62,170.28	
INGERSOLL-RAND PLC	294	127.68	37,537.92	
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	165	94.50	15,592.50	
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL	968	42.30	40,946.40	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	272	199.76	54,334.72	
LOCKHEED MARTIN CORP	302	390.16	117,828.32	
MASCO CORP	352	46.08	16,220.16	
NORTHROP GRUMMAN CORP	191	355.69	67,936.79	
PACCAR INC	421	79.53	33,482.13	
PARKER HANNIFIN CORP	156	194.25	30,303.00	
PENTAIR PLC	204	43.09	8,790.36	
QUANTA SERVICES INC	173	42.00	7,266.00	
RAYTHEON COMPANY	339	216.70	73,461.30	
ROCKWELL AUTOMATION INC	142	198.75	28,222.50	
ROPER TECHNOLOGIES INC	127	349.14	44,340.78	
SMITH (A.O.)CORP	168	51.52	8,655.36	
SNAP-ON INC	67	164.54	11,024.18	
STANLEY BLACK & DECKER INC	185	156.11	28,880.35	
TEXTRON INC	280	46.34	12,975.20	
TRANSDIGM GROUP INC	60	559.77	33,586.20	
UNITED RENTALS INC	94	152.32	14,318.08	
UNITED TECHNOLOGIES CORP	987	148.11	146,184.57	
WABTEC CORP	222	78.54	17,435.88	
WW GRAINGER INC	54	322.41	17,410.14	
XYLEM INC	219	76.51	16,755.69	
CINTAS CORP	101	259.36	26,195.36	
COPART INC	245	85.82	21,025.90	
EQUIFAX INC	147	137.66	20,236.02	
IHS MARKIT LTD	488	71.55	34,916.40	
NIELSEN HOLDINGS PLC	433	20.54	8,893.82	
REPUBLIC SERVICES INC	258	87.13	22,479.54	
ROBERT HALF INTEL INC	143	57.80	8,265.40	
ROLLINS INC	171	37.48	6,409.08	
VERISK ANALYTICS INC	199	141.03	28,064.97	
WASTE MANAGEMENT INC	475	112.05	53,223.75	
ALASKA AIR GROUP INC	150	70.41	10,561.50	

AMERICAN AIRLINES GROUP INC	482	28.77	13,867.14	
C.H. ROBINSON WORLDWIDE INC	165	74.67	12,320.55	
CSX CORP	971	71.84	69,756.64	
DELTA AIR LINES INC	704	56.55	39,811.20	
EXPEDITORS INTL WASH INC	208	76.20	15,849.60	
FEDEX CORP	292	156.68	45,750.56	
HUNT (JB) TRANSPORT SVCS INC	104	116.87	12,154.48	
KANSAS CITY SOUTHERN	122	153.33	18,706.26	
NORFOLK SOUTHERN CORP	321	190.96	61,298.16	
SOUTHWEST AIRLINES CO	589	57.63	33,944.07	
UNION PACIFIC CORP	857	174.77	149,777.89	
UNITED AIRLINES HOLDINGS INC	269	92.52	24,887.88	
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	850	124.08	105,468.00	
APTIV PLC	312	92.25	28,782.00	
BORGWARNER INC	251	44.34	11,129.34	
FORD MOTOR COMPANY	4,769	8.79	41,919.51	
GENERAL MOTORS CO	1,529	36.80	56,267.20	
HARLEY-DAVIDSON INC	191	37.67	7,194.97	
CAPRI HOLDINGS LTD	184	35.86	6,598.24	
DR HORTON INC	409	54.26	22,192.34	
GARMIN LTD	176	96.75	17,028.00	
HANESBRANDS INC	440	15.25	6,710.00	
HASBRO INC	143	95.33	13,632.19	
LEGGETT & PLATT INC	160	53.21	8,513.60	
LENNAR CORP CL-A	346	59.74	20,670.04	
MOHAWK INDUSTRIES INC	73	143.22	10,455.06	
NEWELL BRANDS INC	464	19.96	9,261.44	
NIKE INC -CL B	1,523	91.27	139,004.21	
NVR INC	4	3,687.42	14,749.68	
PULTEGROUP INC	314	39.35	12,355.90	
PVH CORP	90	97.84	8,805.60	
RALPH LAUREN CORP	63	111.39	7,017.57	
TAPESTRY INC	349	26.09	9,105.41	
UNDER ARMOUR INC-CLASS A	229	17.12	3,920.48	
UNDER ARMOUR INC-CLASS C	236	15.56	3,672.16	
VF CORP	397	85.84	34,078.48	
WHIRLPOOL CORP	77	149.97	11,547.69	
CARNIVAL CORP	487	44.44	21,642.28	
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	31	749.20	23,225.20	

DARDEN RESTAURANTS INC	149	112.47	16,758.03	
H&R BLOCK INC	244	24.74	6,036.56	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	349	98.85	34,498.65	
LAS VEGAS SANDS CORP	412	62.39	25,704.68	
MARRIOTT INTL-CL A	333	134.55	44,805.15	
MCDONALD'S CORPORATION	924	194.00	179,256.00	
MGM RESORTS INTERNATIONAL	634	31.10	19,717.40	
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDINGS LTD.	262	52.41	13,731.42	
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	209	115.24	24,085.16	
STARBUCKS CORP	1,456	84.38	122,857.28	
WYNN RESORTS LTD	118	118.68	14,004.24	
YUM! BRANDS INC	370	98.11	36,300.70	
ACTIVISION BLIZZARD INC	933	52.70	49,169.10	
ALPHABET INC-CL A	364	1,309.15	476,530.60	
ALPHABET INC-CL C	368	1,311.46	482,617.28	
CBS CORP-CL B	398	37.63	14,976.74	
CHARTER COMMUNICATIONS-A	197	479.97	94,554.09	
COMCAST CORP-CL A	5,519	45.45	250,838.55	
DISCOVERY INC-A	192	29.90	5,740.80	
DISCOVERY INC-C	422	28.03	11,828.66	
DISH NETWORK CORP-A	293	35.66	10,448.38	
ELECTRONIC ARTS INC	359	97.54	35,016.86	
FACEBOOK INC-A	2,927	193.15	565,350.05	
FOX CORP CLASS A	431	34.22	14,748.82	
FOX CORP CLASS B	198	33.45	6,623.10	
INTERPUBLIC GROUP OF COS INC	471	22.23	10,470.33	
NETFLIX INC	533	289.62	154,367.46	
NEWS CORP - CLASS A	469	12.91	6,054.79	
NEWS CORP - CLASS B	148	13.20	1,953.60	
OMNICOM GROUP	265	78.56	20,818.40	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWRE	138	122.30	16,877.40	
THE WALT DISNEY CO.	2,192	147.15	322,552.80	
TRIPADVISOR INC	128	31.06	3,975.68	
TWITTER INC	941	28.89	27,185.49	
VIACOM INC-CLASS B NEW	431	22.47	9,684.57	
ADVANCE AUTO PARTS INC	87	156.83	13,644.21	
AMAZON.COM INC	506	1,754.60	887,827.60	
AUTOZONE INC	30	1,174.90	35,247.00	
BEST BUY CO INC	282	75.60	21,319.20	

BOOKING HOLDINGS INC	52	1,865.55	97,008.60	
CARMAX INC	201	96.84	19,464.84	
DOLLAR GENERAL CORP	313	159.49	49,920.37	
DOLLAR TREE INC	288	108.75	31,320.00	
EBAY INC	959	34.96	33,526.64	
EXPEDIA GROUP INC	170	95.58	16,248.60	
GAP INC	261	17.15	4,476.15	
GENUINE PARTS CO	178	103.83	18,481.74	
HOME DEPOT INC	1,333	236.55	315,321.15	
KOHL'S CORP	194	57.55	11,164.70	
L BRANDS INC	283	17.58	4,975.14	
LKQ CORP	375	35.17	13,188.75	
LOWE'S COS INC	939	114.54	107,553.06	
MACY'S INC	376	16.24	6,106.24	
NORDSTROM INC	130	37.82	4,916.60	
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	93	443.19	41,216.67	
ROSS STORES INC	444	112.84	50,100.96	
TARGET CORP	622	111.11	69,110.42	
TIFFANY & CO	132	123.01	16,237.32	
TJX COMPANIES INC	1,471	59.18	87,053.78	
TRACTOR SUPPLY COMPANY	145	97.56	14,146.20	
ULTA BEAUTY INC	72	242.87	17,486.64	
COSTCO WHOLESALE CORP	535	304.59	162,955.65	
KROGER CO	972	26.91	26,156.52	
SYSCO CORPORATION	624	81.50	50,856.00	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	923	61.94	57,170.62	
WALMART INC	1,730	120.65	208,724.50	
ALTRIA GROUP INC	2,273	46.63	105,989.99	
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	678	42.78	29,004.84	
BROWN-FORMAN CORP-CLASS B	221	64.64	14,285.44	
CAMPBELL SOUP CO	205	47.07	9,649.35	
COCA-COLA COMPANY	4,683	52.63	246,466.29	
CONAGRA BRANDS INC	592	28.44	16,836.48	
CONSTELLATION BRANDS INC-A	203	182.86	37,120.58	
GENERAL MILLS INC	734	52.53	38,557.02	
HERSHEY CO/THE	181	146.31	26,482.11	
HORMEL FOODS CORP	338	42.23	14,273.74	
JM SMUCKER CO/THE	139	104.49	14,524.11	
KELLOGG CO	303	64.05	19,407.15	

KRAFT HEINZ CO/THE	757	30.96	23,436.72	
LAMB WESTON HOLDINGS INC	177	81.04	14,344.08	
MCCORMICK & COMPANY	150	163.11	24,466.50	
MOLSON COORS BREWING	229	51.30	11,747.70	
MONDELEZ INTERNATIONAL INC	1,755	52.90	92,839.50	
MONSTER BEVERAGE CORP	471	58.93	27,756.03	
PEPSICO INC	1,701	133.33	226,794.33	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	1,893	83.64	158,330.52	
TYSON FOODS INC-CL A	359	90.34	32,432.06	
CHURCH & DWIGHT CO INC	301	68.02	20,474.02	
CLOROX COMPANY	153	146.28	22,380.84	
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,044	66.64	69,572.16	
COTY INC	358	12.21	4,371.18	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	269	191.50	51,513.50	
KIMBERLY-CLARK CORP	419	132.39	55,471.41	
PROCTER & GAMBLE CO	3,045	120.50	366,922.50	
ABBOTT LABORATORIES	2,151	84.12	180,942.12	
ABIOMED INC	55	220.95	12,152.25	
ALIGN TECHNOLOGY INC	88	260.44	22,918.72	
AMERISOURCEBERGEN CORP	185	86.13	15,934.05	
ANTHEM INC	311	282.01	87,705.11	
BAXTER INTERNATIONAL INC	621	80.74	50,139.54	
BECTON DICKINSON & CO	328	248.80	81,606.40	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	1,695	41.57	70,461.15	
CARDINAL HEALTH INC	363	54.75	19,874.25	
CENTENE CORP	503	54.65	27,488.95	
CERNER CORP	387	67.05	25,948.35	
CIGNA CORP	459	189.70	87,072.30	
COOPER COS INC/THE	60	299.60	17,976.00	
CVS HEALTH CORP	1,582	72.94	115,391.08	
DANAHER CORP	777	136.15	105,788.55	
DAVITA INC	118	68.93	8,133.74	
DENTSPLY SIRONA INC	273	56.03	15,296.19	
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	253	240.56	60,861.68	
HCA HEALTHCARE INC	324	134.49	43,574.76	
HENRY SCHEIN INC	180	68.18	12,272.40	
HOLOGIC INC	325	46.66	15,164.50	
HUMANA INC	164	318.00	52,152.00	
IDEXX LABORATORIES INC	105	257.36	27,022.80	

INTUITIVE SURGICAL INC	140	554.44	77,621.60	
LABORATORY CRP OF AMER HLDGS	119	169.40	20,158.60	
MCKESSON CORP	225	144.65	32,546.25	
MEDTRONIC PLC	1,633	109.21	178,339.93	
QUEST DIAGNOSTICS INC	164	102.80	16,859.20	
RESMED INC	175	145.42	25,448.50	
STRYKER CORP	390	203.16	79,232.40	
TELEFLEX INC	56	342.38	19,173.28	
UNITEDHEALTH GROUP INC	1,153	255.83	294,971.99	
UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B	99	141.19	13,977.81	
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	111	125.00	13,875.00	
WELLCARE HEALTH PLANS INC	61	301.80	18,409.80	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	250	145.03	36,257.50	
ABBVIE INC	1,799	87.63	157,646.37	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	377	76.76	28,938.52	
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	273	105.89	28,907.97	
ALLERGAN PLC	399	182.47	72,805.53	
AMGEN INC	730	218.50	159,505.00	
BIOGEN INC	224	275.15	61,633.60	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	1,990	58.51	116,434.90	
CELGENE CORP	862	110.02	94,837.24	
ELI LILLY & CO	1,034	111.39	115,177.26	
GILEAD SCIENCES INC	1,541	63.81	98,331.21	
ILLUMINA INC	179	298.44	53,420.76	
INCYTE CORP	217	85.79	18,616.43	
IQVIA HOLDINGS INC	222	145.70	32,345.40	
JOHNSON & JOHNSON	3,211	130.96	420,512.56	
MERCK & CO. INC.	3,115	84.55	263,373.25	
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL	30	713.65	21,409.50	
MYLAN NV	628	17.26	10,839.28	
PERKINELMER INC	135	88.12	11,896.20	
PERRIGO CO PLC	166	48.04	7,974.64	
PFIZER INC	6,730	36.55	245,981.50	
REGENERON PHARMACEUTICALS, INC.	97	338.39	32,823.83	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	487	300.84	146,509.08	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	313	205.00	64,165.00	
WATERS CORP	81	213.48	17,291.88	
ZOETIS INC	581	116.25	67,541.25	
BANK OF AMERICA CORP	10,194	32.70	333,343.80	

BB&T CORPORATION	932	54.60	50,887.20	
CITIGROUP INC	2,749	73.84	202,986.16	
CITIZENS FINANCIAL GROUP	544	37.57	20,438.08	
COMERICA INC	182	69.56	12,659.92	
FIFTH THIRD BANCORP	889	29.78	26,474.42	
FIRST REPUBLIC BANK/CA	205	109.00	22,345.00	
HUNTINGTON BANCSHARES INC	1,263	14.69	18,553.47	
JP MORGAN CHASE & CO	3,891	128.60	500,382.60	
KEYCORP	1,221	18.87	23,040.27	
M & T BANK CORP	163	163.11	26,586.93	
PEOPLE'S UNITED FINANCIAL INC	540	16.45	8,883.00	
PNC FINANCIAL SERVICES GROUP	542	149.02	80,768.84	
REGIONS FINANCIAL CORP	1,214	16.44	19,958.16	
SUNTRUST BANKS INC	540	70.52	38,080.80	
SVB FINANCIAL GROUP	63	232.95	14,675.85	
US BANCORP	1,745	58.57	102,204.65	
WELLS FARGO & COMPANY	4,879	53.49	260,977.71	
ZIONS BANCORP NA	215	49.49	10,641.42	
AFFILIATED MANAGERS GROUP	62	84.26	5,224.12	
AMERICAN EXPRESS CO	828	120.93	100,130.04	
AMERIPRISE FINANCIAL INC	159	159.32	25,331.88	
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	1,044	48.42	50,550.48	
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	2,386	219.36	523,392.96	
BLACKROCK INC	143	484.59	69,296.37	
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	572	96.64	55,278.08	
CBOE GLOBAL MARKETS INC	136	117.52	15,982.72	
CME GROUP INC	436	206.05	89,837.80	
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	387	84.81	32,821.47	
E*TRADE FINANCIAL CORP	277	43.68	12,099.36	
FRANKLIN RESOURCES INC	343	27.23	9,339.89	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	394	219.43	86,455.42	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	682	93.17	63,541.94	
INVESCO LIMITED	469	17.28	8,104.32	
MARKETAXESS HOLDINGS INC	46	379.22	17,444.12	
MOODY'S CORP	198	218.86	43,334.28	
MORGAN STANLEY	1,528	48.61	74,276.08	
MSCI INC	103	250.00	25,750.00	
NASDAQ INC	140	103.26	14,456.40	
NORTHERN TRUST CORP	261	105.82	27,619.02	

RAYMOND JAMES FINANCIAL INC	150	88.93	13,339.50	
S&P GLOBAL INC	300	260.00	78,000.00	
SCHWAB (CHARLES) CORP	1,416	43.38	61,426.08	
STATE STREET CORP	453	72.25	32,729.25	
SYNCHRONY FINANCIAL	743	36.73	27,290.39	
T ROWE PRICE GROUP	287	120.91	34,701.17	
AFLAC INC	901	54.18	48,816.18	
ALLSTATE CORP	401	110.80	44,430.80	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	1,058	54.19	57,333.02	
AON PLC	287	198.35	56,926.45	
ARTHUR J GALLAGHER & CO	226	92.30	20,859.80	
ASSURANT INC	74	132.02	9,769.48	
CHUBB LTD	555	151.35	83,999.25	
CINCINNATI FINANCIAL CORP	185	108.00	19,980.00	
EVEREST RE GROUP LTD	50	268.50	13,425.00	
GLOBE LIFE INC	122	100.14	12,217.08	
HARTFORD FINANCIAL	440	61.62	27,112.80	
LINCOLN NATIONAL CORP	244	58.93	14,378.92	
LOEWS CORP	316	50.09	15,828.44	
MARSH & MCLENNAN COS	616	105.34	64,889.44	
METLIFE INC	969	49.30	47,771.70	
PRINCIPAL FINANCIAL GROUP	315	54.59	17,195.85	
PROGRESSIVE CORP	711	72.95	51,867.45	
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	489	92.81	45,384.09	
TRAVELERS COS INC/THE	317	133.95	42,462.15	
UNUM GROUP	254	29.62	7,523.48	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	157	189.75	29,790.75	
CBRE GROUP INC-A	409	55.57	22,728.13	
ACCENTURE PLC-CL A	775	196.25	152,093.75	
ADOBE INC	591	294.53	174,067.23	
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	201	85.65	17,215.65	
ALLIANCE DATA SYSTEMS CORP	50	106.61	5,330.50	
ANSYS INC	102	229.37	23,395.74	
AUTODESK INC	267	158.14	42,223.38	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	528	170.14	89,833.92	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS	139	119.37	16,592.43	
CADENCE DESIGN SYS INC	341	67.16	22,901.56	
CITRIX SYSTEMS INC	150	111.39	16,708.50	
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	672	63.11	42,409.92	

DXC TECHNOLOGY CO	319	35.83	11,429.77	
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	746	135.50	101,083.00	
FISERV INC	695	114.10	79,299.50	
FLEETCOR TECHNOLOGIES INC	105	293.41	30,808.05	
FORTINET INC	173	100.12	17,320.76	
GARTNER INC	110	158.56	17,441.60	
GLOBAL PAYMENTS INC	365	177.50	64,787.50	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	1,078	134.00	144,452.00	
INTUIT INC	316	264.78	83,670.48	
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	94	148.09	13,920.46	
LEIDOS HOLDINGS INC	164	90.44	14,832.16	
MASTERCARD INCORPORATED	1,086	279.63	303,678.18	
MICROSOFT CORP	9,291	148.06	1,375,625.46	
NORTONLIFELOCK INC	692	24.52	16,967.84	
ORACLE CORP	2,679	56.09	150,265.11	
PAYCHEX INC	389	84.47	32,858.83	
PAYPAL HOLDINGS INC	1,432	103.73	148,541.36	
SALESFORCE.COM INC	1,067	163.05	173,974.35	
SYNOPSYS INC	183	138.13	25,277.79	
VERISIGN INC	127	187.25	23,780.75	
VISA INC-CLASS A SHARES	2,101	179.75	377,654.75	
WESTERN UNION CO	516	26.48	13,663.68	
AMPHENOL CORP-CL A	362	101.10	36,598.20	
APPLE INC	5,169	262.64	1,357,586.16	
ARISTA NETWORKS INC	66	190.56	12,576.96	
CDW CORP/DE	176	132.82	23,376.32	
CISCO SYSTEMS INC	5,166	44.91	232,005.06	
CORNING INC	950	28.95	27,502.50	
F5 NETWORKS INC	73	144.30	10,534.26	
FLIR SYSTEMS INC	165	53.20	8,778.00	
HEWLETT PACKARD ENTERPRISE	1,589	17.03	27,060.67	
HP INC	1,803	20.13	36,294.39	
IPG PHOTONICS CORP	43	139.16	5,983.88	
JUNIPER NETWORKS INC	421	25.07	10,554.47	
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	228	106.83	24,357.24	
MOTOROLA SOLUTIONS INC	201	161.74	32,509.74	
NETAPP INC	289	61.98	17,912.22	
SEAGATE TECHNOLOGY	288	58.21	16,764.48	
TE CONNECTIVITY LTD	409	92.90	37,996.10	

WESTERN DIGITAL CORP	360	50.38	18,136.80	
XEROX HOLDINGS CORP	232	38.65	8,966.80	
AT&T INC	8,891	38.95	346,304.45	
CENTURYLINK INC	1,195	14.89	17,793.55	
T-MOBILE US INC	385	76.84	29,583.40	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	5,033	59.34	298,658.22	
AES CORP	808	18.41	14,875.28	
ALLIANT ENERGY CORP	289	53.06	15,334.34	
AMEREN CORPORATION	299	76.53	22,882.47	
AMERICAN ELECTRIC POWER	601	89.60	53,849.60	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	220	117.85	25,927.00	
ATMOS ENERGY CORP	144	109.57	15,778.08	
CENTERPOINT ENERGY INC	611	26.69	16,307.59	
CMS ENERGY CORP	345	60.76	20,962.20	
CONSOLIDATED EDISON INC	404	87.24	35,244.96	
DOMINION ENERGY INC	1,000	81.56	81,560.00	
DTE ENERGY COMPANY	223	123.71	27,587.33	
DUKE ENERGY CORPORATION	887	88.25	78,277.75	
EDISON INTERNATIONAL	436	69.68	30,380.48	
ENTERGY CORP	242	116.89	28,287.38	
EVERGY INC	287	64.61	18,543.07	
EVERSOURCE ENERGY	394	80.80	31,835.20	
EXELON CORP	1,182	44.63	52,752.66	
FIRSTENERGY CORP	657	46.74	30,708.18	
NEXTERA ENERGY INC	595	229.87	136,772.65	
NISOURCE INC	454	26.32	11,949.28	
NRG ENERGY INC	308	39.41	12,138.28	
PINNACLE WEST CAPITAL	137	86.99	11,917.63	
PPL CORPORATION	879	33.62	29,551.98	
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GP	615	60.60	37,269.00	
SEMPRA ENERGY	334	145.47	48,586.98	
SOUTHERN CO	1,272	62.39	79,360.08	
WEC ENERGY GROUP INC	384	88.12	33,838.08	
XCEL ENERGY INC	638	61.30	39,109.40	
ADVANCED MICRO DEVICES	1,321	38.35	50,660.35	
ANALOG DEVICES INC	449	113.32	50,880.68	
APPLIED MATERIALS INC	1,124	56.96	64,023.04	
BROADCOM INC	484	308.97	149,541.48	
INTEL CORP	5,390	57.81	311,595.90	

	KLA CORPORATION	194	176.60	34,260.40	
	LAM RESEARCH CORP	176	275.09	48,415.84	
	MAXIM INTEGRATED PRODUCTS	330	57.78	19,067.40	
	MICROCHIP TECHNOLOGY	290	93.62	27,149.80	
	MICRON TECHNOLOGY INC	1,343	46.80	62,852.40	
	NVIDIA CORP	741	209.79	155,454.39	
	QORVO INC	143	103.70	14,829.10	
	QUALCOMM INC	1,479	90.48	133,819.92	
	SKYWORKS SOLUTIONS INC	209	98.75	20,638.75	
	TEXAS INSTRUMENTS INC	1,136	117.57	133,559.52	
	XILINX INC	307	93.15	28,597.05	
	米ドル 小計	335,023		30,376,356.50 (3,299,479,843)	
	合 計	335,023		3,299,479,843 (3,299,479,843)	

②株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	投資証券	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUITIES	138	21,729.48	
		AMERICAN TOWER CORP	539	114,160.20	
		APARTMENT INVT & MGMT CO-A	181	9,741.42	
		AVALONBAY COMMUNITIES INC	170	36,145.40	
		BOSTON PROPERTIES INC	175	24,116.75	
		CROWN CASTLE INTL CORP	506	67,637.02	
		DIGITAL REALTY TRUST INC	254	29,748.48	
		DUKE REALTY CORP	440	15,395.60	
		EQUINIX INC	103	56,105.13	
		EQUITY RESIDENTIAL	424	36,370.72	
		ESSEX PROPERTY TRUST INC	80	25,140.00	
		EXTRA SPACE STORAGE INC	156	16,709.16	
		FEDERAL REALTY INVS TRUST	85	11,196.20	
		HEALTHPEAK PROPERTIES INC.	598	20,326.02	
		HOST HOTELS AND RESORTS INC	888	15,149.28	
		IRON MOUNTAIN INC	349	11,611.23	
		KIMCO REALTY CORP	514	11,081.84	
		MACERICH CO/THE	134	3,698.40	
		MID-AMERICA APARTMENT COMMUNITIES INC	139	19,004.08	
		PROLOGIS INC	768	68,444.16	

	PUBLIC STORAGE	183	38,969.85	
	REALTY INCOME CORP	387	29,891.88	
	REGENCY CENTERS CORP	204	13,417.08	
	SBA COMMUNICATIONS CORP	138	32,427.24	
	SIMON PROPERTY	375	57,588.75	
	SL GREEN REALTY CORP	100	8,559.00	
	UDR INC	356	17,105.80	
	VENTAS INC	453	26,527.68	
	VORNADO REALTY TRUST	193	12,616.41	
	WELLTOWER INC	493	41,209.87	
	WEYERHAEUSER CO	906	26,572.98	
米ドル 小計		10,429	918,397.11 (99,756,294)	
合 計		10,429	99,756,294 (99,756,294)	

(注1)投資証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

(注2)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額（単位:円）であります。

(注3)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注4)外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入株式 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 474銘柄	93.6%	-	97.1%
	投資証券 31銘柄	-	2.8%	2.9%

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

当表に記載すべき内容は、「（2）注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に開示しておりますので、記載を省略しております。

２【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

農林中金＜パートナーズ＞つみたてNI S A米国株式 S & P 5 0 0

（2019年12月30日現在）

I 資産総額	2,562,038,107円
II 負債総額	1,613,069円
III 純資産総額（I－II）	2,560,425,038円
IV 発行済口数	2,142,478,838口
V 1万口当たり純資産額（III／IV）	11,951円

（参考）

S & P 5 0 0 インデックス・マザーファンド

純資産額計算書

（2019年12月30日現在）

I 資産総額	3,806,618,280円
II 負債総額	87,064,675円
III 純資産総額（I－II）	3,719,553,605円
IV 発行済口数	3,081,908,443口
V 1万口当たり純資産額（III／IV）	12,069円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）受益証券の名義書換手続き

該当事項はありません。

ファンドの受益権は、振替受益権であり、委託者は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

（2）受益者に対する特典

該当事項はありません。

（3）受益権の譲渡

- ① 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ② 上記①の申請のある場合には、上記①の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③ 上記①の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めたときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（4）受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

（5）受益権の再分割

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

（6）償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者としてします。）に支払います。

（7）質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

（1）資本金の額（2019年12月30日現在）

34億2千万円

発行する株式の総数：116,400株（普通株式101,400株、A種種類株式15,000株）

発行済株式総数：53,400株（普通株式38,400株、A種種類株式15,000株）

最近5年間における資本金の額の増減

・2012年7月26日 A種種類株式15,000株を発行し15億円増資（資本金34億2千万円）

（注）A種種類株式は議決権を有しません。

（2）委託会社等の機構

a. 委託会社等の機構（委託会社等の意思決定機構）

定款に基づき、10名以内の取締役が、株主総会において選任されます。取締役の選任は、総株主の議決権の過半数を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもってこれを行い、累積投票によらないものとします。

取締役の任期は、就任後2年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結のときまでとし、補欠により選任された取締役の任期は、退任者の残存期間とします。

取締役会はその決議をもって、取締役の中より取締役社長1名を置くとともに、取締役会長1名、取締役副社長、専務取締役および常務取締役若干名を選任することができます。また取締役の中より代表取締役を選任します。

取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、代表取締役が招集し、議長となります。代表取締役に事故がある時は、あらかじめ取締役会の定めた順序により、他の取締役がこれに代わります。取締役会の招集通知は、開催日の3日前までに発することとします。また、取締役および監査役全員の同意がある場合は、招集の手続きを経ないで取締役会を開催することができます。

取締役会は、法令または定款に定められた事項を決議します。その決議は、取締役の過半数が出席し、その出席取締役の過半数をもって行います。

b. 運用プロセス（投資運用の意思決定機構）

① 運用に関する会議等

1. 投資戦略委員会

原則として月1回以上開催し、投資環境や市場動向等を踏まえ、最適な資産配分を決定します。

2. 資産ポートフォリオ委員会

原則として月1回以上開催し、個別資産毎にセクター、スタイル、ファクター等のリスク配分を決定します。

3. 銘柄会議

必要に応じ開催し、ポートフォリオ構築に必要な銘柄の相対的な優位性等を決定します。

4. 個別ファンド運用会議

運用担当役員が、特に必要と認めたファンドの運用方針を、個別に審議し決定します。

5. 運用リスク管理会議

原則として月1回開催し、ファンド運用資産に係るリスクを的確に把握・管理することを目的に、運用リスクや運用パフォーマンスの状況について報告・審議を行います。

6. 運用管理会議

原則として月1回開催し、ファンドの法令等（法令、協会ルール、信託約款等）の遵守状況の検証および運用計画と実績の検証を行います。

② 運用の流れ

1. 運用方針の決定

経済環境や市場環境等グローバルな投資情報の分析等に基づき、最適な資産配分を決定した後、個別資産毎のリスク配分および資産構成銘柄等を組織的な意思決定プロセスを通じて決定しています。

2. 運用の実践

ファンドマネージャーは、ファンド毎のリスク許容度やガイドライン等を考慮しながら、上記決定を受けた運用方針に基づいた運用を行います。

3. 運用状況の評価

ファンドの運用状況については、運用リスク管理会議や運用管理会議による運用状況等の評価を通じ、最適な投資行動を実践しているかの確認を行っています。

2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

2019年12月30日現在、委託者が運用を行っている証券投資信託は以下のとおりです。

種類別（基本的性格）	本数	純資産総額
株式投資信託	278本	4,575,205百万円
公社債投資信託	60本	269,942百万円
合計	338本	4,845,147百万円

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により、作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号。以下「中間財務諸表等規則」という。）、並びに同規則第38条第1項及び第57条第1項の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第27期中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

		前事業年度 (2018年3月31日)		当事業年度 (2019年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	※ 1		10,520,402		10,953,987
分別金信託			100,000		100,000
有価証券			—		91,023
1年内償還予定のその他の関係 会社有価証券			1,000,000		1,000,000
前払費用			100,685		116,844
未収委託者報酬			1,454,894		1,672,837
未収運用受託報酬			212,706		197,286
未収投資助言報酬			162,644		146,031
未収収益			2,021		1,546
その他			25,477		30,225
流動資産計			13,578,832		14,309,782
固定資産					
有形固定資産			146,878		148,382
建物	※ 2	101,124		95,253	
器具備品	※ 2	45,753		53,129	
無形固定資産			8,736		8,281
商標権		6,331		5,886	
電話加入権等		2,405		2,394	
投資その他の資産			5,172,852		5,244,866
投資有価証券		910,081		964,082	
その他の関係会社有価証券		4,000,000		4,000,000	
長期差入保証金		80,077		82,624	
長期前払費用		3,659		2,743	
会員権		6,700		6,700	
繰延税金資産		172,334		188,715	
固定資産計			5,328,467		5,401,530
資産合計			18,907,299		19,711,313

		前事業年度 (2018年3月31日)		当事業年度 (2019年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			2,245,059		1,500,896
未払金			551,825		619,815
未払収益分配金		13		13	
未払償還金		3,132		3,132	
未払手数料		534,806		603,800	
その他未払金		13,872		12,868	
未払費用			109,493		125,004
未払法人税等			549,111		651,420
未払消費税等			99,920		98,144
賞与引当金			176,534		180,895
流動負債計			3,731,945		3,176,175
固定負債					
退職給付引当金			179,077		187,460
役員退任慰労引当金			44,700		59,600
固定負債計			223,777		247,060
負債合計			3,955,722		3,423,235
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			3,420,000		3,420,000
資本剰余金					
資本準備金		1,500,000		1,500,000	
資本剰余金計			1,500,000		1,500,000
利益剰余金					
利益準備金		74,040		74,040	
その他利益剰余金		9,905,856		11,256,010	
別途積立金		7,905,000		8,805,000	
繰越利益剰余金		2,000,856		2,451,010	
利益剰余金計			9,979,896		11,330,050
株主資本計			14,899,896		16,250,050
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金			51,680		38,026
評価・換算差額等計			51,680		38,026
純資産合計			14,951,577		16,288,077
負債純資産合計			18,907,299		19,711,313

（２）【損益計算書】

		前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業収益					
委託者報酬			6,975,152		7,793,271
運用受託報酬			890,344		965,238
投資助言報酬			284,776		281,724
その他営業収益			—		593
営業収益計			8,150,273		9,040,826
営業費用					
支払手数料			1,550,241		1,704,583
広告宣伝費			12,737		37,891
調査費			1,217,573		1,160,822
調査費		477,154		540,390	
委託調査費		738,187		618,070	
図書費		2,232		2,361	
委託計算費			312,333		339,499
営業雑経費			101,015		84,914
通信費		20,943		21,031	
印刷費		38,346		41,155	
協会費		12,144		13,173	
諸会費		1,412		1,347	
その他営業雑経費		28,169		8,205	
営業費用計			3,193,901		3,327,712
一般管理費					
給料			1,301,010		1,336,594
役員報酬		88,338		88,362	
給料・手当		858,628		895,684	
賞与		164,908		156,753	
賞与引当金繰入額		176,534		180,895	
役員退任慰労引当金繰入額		12,600		14,900	
福利厚生費			159,394		170,844
交際費			17,422		18,673
旅費交通費			38,576		39,994
租税公課			86,622		93,387
不動産賃借料			168,634		169,149
賃借料			1,674		1,748
役員退任慰労金			1,100		—
退職給付費用			44,212		44,599
固定資産減価償却費			23,878		28,828
業務委託費			270,761		282,049
諸経費			144,714		142,172
一般管理費計			2,258,002		2,328,042
営業利益			2,698,368		3,385,071

		前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)		当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業外収益					
受取配当金			41,661		9,268
有価証券利息	※ 1		13,825		8,193
受取利息			52		62
投資有価証券売却益			8,385		1,131
投資有価証券償還益			18,276		104
その他			3,505		132
営業外収益計			85,706		18,892
営業外費用					
支払利息	※ 1		501		4,391
投資有価証券売却損			805		28,297
投資有価証券償還損			849		146
その他			160		268
営業外費用計			2,317		33,103
経常利益			2,781,758		3,370,861
特別損失					
固定資産除却損	※ 2		13		0
特別損失計			13		0
税引前当期純利益			2,781,745		3,370,861
法人税、住民税及び事業税			876,228		1,040,431
法人税等調整額			△ 33,503		△ 10,324
法人税等合計			842,725		1,030,106
当期純利益			1,939,019		2,340,754

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2017年4月 1 日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,420,000	1,500,000	1,500,000	74,040	7,105,000	1,689,236	8,868,276	13,788,276
当期変動額								
剰余金の配当						△827,400	△827,400	△827,400
別途積立金の積立					800,000	△800,000	—	—
当期純利益						1,939,019	1,939,019	1,939,019
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	800,000	311,619	1,111,619	1,111,619
当期末残高	3,420,000	1,500,000	1,500,000	74,040	7,905,000	2,000,856	9,979,896	14,899,896

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	63,895	63,895	13,852,172
当期変動額			
剰余金の配当			△827,400
別途積立金の積立			—
当期純利益			1,939,019
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△12,215	△12,215	△12,215
当期変動額合計	△12,215	△12,215	1,099,404
当期末残高	51,680	51,680	14,951,577

当事業年度(自 2018年4月 1 日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,420,000	1,500,000	1,500,000	74,040	7,905,000	2,000,856	9,979,896	14,899,896
当期変動額								
剰余金の配当						△990,600	△990,600	△990,600
別途積立金の積立					900,000	△900,000	—	—
当期純利益						2,340,754	2,340,754	2,340,754
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	900,000	450,154	1,350,154	1,350,154
当期末残高	3,420,000	1,500,000	1,500,000	74,040	8,805,000	2,451,010	11,330,050	16,250,050

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	51,680	51,680	14,951,577
当期変動額			
剰余金の配当			△990,600
別途積立金の積立			—
当期純利益			2,340,754
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△13,653	△13,653	△13,653
当期変動額合計	△13,653	△13,653	1,336,500
当期末残高	38,026	38,026	16,288,077

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) 満期保有目的の債券
償却原価法（定額法）を採用しております。
- (2) その他有価証券
時価のあるもの
決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物 5～50年
器具備品 3～15年
- (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
商標権 10年

3. 引当金の計上基準

- (1) 賞与引当金
従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
- (3) 役員退任慰労引当金
役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

（表示方法の変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」87,158千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」172,334千円に含めて表示しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
※1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは次のとおりであります。 預金 10,405,210千円	※1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは次のとおりであります。 預金 10,848,776千円
※2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 78,809千円 器具備品 90,963千円 合計 169,773千円	※2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 86,645千円 器具備品 105,592千円 合計 192,238千円

（損益計算書関係）

前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。 有価証券利息 13,825千円 支払利息 501千円	※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。 有価証券利息 8,193千円 支払利息 4,391千円
※2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 器具備品 13千円 合計 13千円	※2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 器具備品 0千円 合計 0千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	38,400	—	—	38,400
A種種類株式（株）	15,000	—	—	15,000
合 計（株）	53,400	—	—	53,400

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基 準 日	効力発生日
2017年6月26日 定時株主総会	普通株式	806,400	21,000	2017年3月31日	2017年6月27日
	A種種類株式	21,000	1,400	2017年3月31日	2017年6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額（円）	基 準 日	効力発生日
2018年6月25日 定時株主総会	普通株式	969,600	利益剰余金	25,250	2018年3月31日	2018年6月26日
	A種種類株式	21,000	利益剰余金	1,400	2018年3月31日	2018年6月26日

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	38,400	—	—	38,400
A種種類株式（株）	15,000	—	—	15,000
合 計（株）	53,400	—	—	53,400

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基 準 日	効力発生日
2018年6月25日 定時株主総会	普通株式	969,600	25,250	2018年3月31日	2018年6月26日
	A種種類株式	21,000	1,400	2018年3月31日	2018年6月26日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額（円）	基 準 日	効力発生日
2019年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,170,355	利益剰余金	30,478	2019年3月31日	2019年6月25日
	A種種類株式	21,000	利益剰余金	1,400	2019年3月31日	2019年6月25日

(リース取引関係)

前事業年度 2018年3月31日	当事業年度 2019年3月31日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品関係）

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については主に安全性の高い金融商品により行っております。なお、投資有価証券に含まれる投資信託については、市場リスクに晒されておりますが、その取得については、社内規定により、取得金額の上限を定めるとともに、当社が設定する投資信託について、当初設定時における取得、または商品性を適正に維持するための取得に限定しており、毎月時価の把握を行っております。また、金融債での運用については、毎月時価の把握や金利上昇時の評価損失等のリスク指標の把握を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2018年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）をご参照ください。）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	10,520,402	10,520,402	—
(2)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券	910,081	910,081	—
(3)その他の関係会社有価証券(*) 満期保有目的の債券	5,000,000	5,007,975	7,975
資産計	16,430,484	16,438,459	7,975

(*) 1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券及び投資有価証券

投資信託の時価は、基準価額によっております。

(3)その他の関係会社有価証券

金融債の時価は、取引金融機関の提示する参考時価情報によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

該当事項はありません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預金	10,520,316	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 其他有価証券のうち満期のあるもの	—	531,824	81,950	—
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	4,000,000	—	—
合計	11,520,316	4,531,824	81,950	—

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については主に安全性の高い金融商品により行っております。なお、投資有価証券に含まれる投資信託については、市場リスクに晒されておりますが、その取得については、社内規定により、取得金額の上限を定めるとともに、当社が設定する投資信託について、当初設定時における取得、または商品性を適正に維持するための取得に限定しており、毎月時価の把握を行っております。また、金融債での運用については、毎月時価の把握や金利上昇時の評価損失等のリスク指標の把握を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）をご参照ください。）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	10,953,987	10,953,987	—
(2)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	1,055,106	1,055,106	—
(3)その他の関係会社有価証券(*) 満期保有目的の債券	5,000,000	5,003,175	3,175
資産計	17,009,094	17,012,269	3,175

(*) 1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

（注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券及び投資有価証券

投資信託の時価は、基準価額によっております。

(3)その他の関係会社有価証券

金融債の時価は、取引金融機関の提示する参考時価情報によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

該当事項はありません。

（注3）金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預金	10,953,697	—	—	—
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券のうち満 期のあるもの	91,023	661,233	34,918	1,045
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	4,000,000	—	—
合計	12,044,720	4,661,233	34,918	1,045

(有価証券関係)

前事業年度（2018年3月31日）

1. 満期保有目的の債券

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	3,000,000	3,009,325	9,325
	小計	3,000,000	3,009,325	9,325
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	2,000,000	1,998,650	△1,350
	小計	2,000,000	1,998,650	△1,350
合計		5,000,000	5,007,975	7,975

2. その他有価証券

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	654,069	565,707	88,361
	小計	654,069	565,707	88,361
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	256,012	269,830	△13,817
	小計	256,012	269,830	△13,817
合計		910,081	835,537	74,543

(注) 時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があるとは判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

3. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：千円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	27,879	8,385	805
合計	27,879	8,385	805

当事業年度（2019年3月31日）

1. 満期保有目的の債券

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	2,750,000	2,754,025	4,025
	小計	2,750,000	2,754,025	4,025
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	2,250,000	2,249,150	△850
	小計	2,250,000	2,249,150	△850
合計		5,000,000	5,003,175	3,175

2. その他有価証券

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	662,842	573,533	89,308
	小計	662,842	573,533	89,308
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	392,264	426,739	△34,475
	小計	392,264	426,739	△34,475
合計		1,055,106	1,000,273	54,832

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があるかと判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

3. 売却したその他有価証券

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	281,834	1,131	28,297
合計	281,834	1,131	28,297

（デリバティブ取引関係）

前事業年度（2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2019年3月31日）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度（非積立型制度であります。）を採用しております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表（単位：千円）

	前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
退職給付引当金の期首残高	161,470	179,077
退職給付費用	25,837	28,033
退職給付の支払額	△8,230	△19,650
退職給付引当金の期末残高	179,077	187,460

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表（単位：千円）

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	179,077	187,460
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	179,077	187,460
退職給付引当金	179,077	187,460
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	179,077	187,460

(3) 退職給付費用

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	25,837	28,033

(税効果会計関係)

(単位：千円)

前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産 ソフトウェア償却超過額 49,675 敷金償却否認 3,470 会員権評価損否認 2,591 電話加入権評価損 1,395 賞与引当金 54,054 役員退任慰労引当金 13,687 退職給付引当金 54,833 その他有価証券評価差額金 4,230 未払事業税 31,526 その他 5,106 繰延税金資産小計 220,573 評価性引当額 △21,182 繰延税金資産合計 199,390 繰延税金負債 その他有価証券評価差額金 △27,056 繰延税金負債合計 △27,056 繰延税金資産の純額 172,334 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産 ソフトウェア償却超過額 51,625 敷金償却否認 3,960 会員権評価損否認 2,591 電話加入権評価損 1,395 賞与引当金 55,390 役員退任慰労引当金 18,249 退職給付引当金 57,400 その他有価証券評価差額金 10,556 未払事業税 35,833 その他 5,272 繰延税金資産小計 242,275 評価性引当額 △26,213 繰延税金資産合計 216,062 繰延税金負債 その他有価証券評価差額金 △27,346 繰延税金負債合計 △27,346 繰延税金資産の純額 188,715 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(資産除去債務関係)

前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。	本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン	合計
7,355,736	794,536	8,150,273

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	1,396,975	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	1,154,684	投資運用業
State Street Cayman Trust Company, Ltd.	587,518	投資運用業

(注) 営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1)営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
8,136,568	904,257	9,040,826

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	1,741,003	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	1,153,935	投資運用業
State Street Cayman Trust Company, Ltd.	604,053	投資運用業

（注）営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	3,480,488	金融業	被所有 直接 50.91%	当社投資信託の購入、募集・販売の取扱等役員の兼任	資金の借入に係る利息の支払 (*)	501	短期借入金	—

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*) 資金の借入については、アームズレンジスルールにおけるガイドラインに従い、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。なお、担保は差し入れておりません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 50.91%	当社投資信託の購入、募集・販売の取扱等役員の兼任	資金の借入に係る利息の支払 (*)	4,391	短期借入金	—

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*) 資金の借入については、アームズレンジスルールにおけるガイドラインに従い、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。なお、担保は差し入れておりません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

農林中央金庫（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

	前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
１株当たり純資産額	310,692円11銭	345,496円81銭
１株当たり当期純利益金額	49,948円43銭	60,410円26銭

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

２．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
当期純利益金額（千円）	1,939,019	2,340,754
普通株主に帰属しない金額（千円）	21,000	21,000
（うちＡ種種類株式配当額(千円)）	(21,000)	(21,000)
普通株式に係る当期純利益金額 （千円）	1,918,019	2,319,754
普通株式の期中平均株式数（株）	38,400	38,400

３．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	14,951,577	16,288,077
純資産の部の合計額から控除する金額 （千円）	3,021,000	3,021,000
（うちＡ種種類株式払込金額(千円)）	(3,000,000)	(3,000,000)
（うちＡ種種類株式配当額(千円)）	(21,000)	(21,000)
普通株式に係る期末の純資産額 （千円）	11,930,577	13,267,077
１株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（株）	38,400	38,400

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

		第27期中間会計期間 (2019年9月30日)
科 目	注記 番号	金 額 (千円)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金		10,077,886
分別金信託		100,000
有価証券		1,110
1年内償還予定のその他の 関係会社有価証券		1,000,000
前払費用		138,262
未収委託者報酬		1,888,038
未収運用受託報酬		208,336
未収投資助言報酬		151,758
未収収益		1,266
その他		24,291
流動資産計		13,590,950
固定資産		
有形固定資産	※1	161,960
建物		95,916
器具備品		66,044
無形固定資産		7,945
投資その他の資産		4,860,904
投資有価証券		1,080,085
その他の関係会社有価証券		3,500,000
長期差入保証金		81,659
長期前払費用		2,456
会員権		6,700
繰延税金資産		190,002
固定資産計		5,030,811
資産合計		18,621,761

		第27期中間会計期間 (2019年9月30日)
科 目	注記 番号	金 額 (千円)
(負債の部)		
流動負債		
預り金		321,221
未払金		696,832
未払費用		135,913
未払法人税等		601,157
未払消費税等		71,748
賞与引当金		193,377
流動負債計		2,020,250
固定負債		
退職給付引当金		196,778
役員退任慰労引当金		45,900
固定負債計		242,678
負債合計		2,262,928
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		3,420,000
資本剰余金		
資本準備金		1,500,000
資本剰余金計		1,500,000
利益剰余金		
利益準備金		74,040
その他利益剰余金		11,321,350
別途積立金		10,005,000
繰越利益剰余金		1,316,350
利益剰余金計		11,395,390
株主資本計		16,315,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		43,443
評価・換算差額等計		43,443
純資産合計		16,358,833
負債純資産合計		18,621,761

(2) 中間損益計算書

		第27期中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
科 目	注記 番号	金 額 (千円)
営業収益		
委託者報酬		4,102,797
運用受託報酬		469,275
投資助言報酬		132,363
営業収益計		4,704,435
営業費用		
支払手数料		818,810
その他		837,310
営業費用計		1,656,120
一般管理費	※1	1,240,055
営業利益		1,808,259
営業外収益	※2	8,016
営業外費用	※3	5,041
経常利益		1,811,234
特別損失	※4	13
税引前中間純利益		1,811,220
法人税、住民税及び事業税		559,124
法人税等調整額		△4,597
法人税等合計		554,526
中間純利益		1,256,694

(3) 中間株主資本等変動計算書

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

項目	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	3,420,000	1,500,000	1,500,000	74,040	8,805,000	2,451,010	11,330,050	16,250,050
当中間期変動額								
剰余金の配当						△1,191,355	△1,191,355	△1,191,355
別途積立金の積立					1,200,000	△1,200,000	—	—
中間純利益						1,256,694	1,256,694	1,256,694
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)								
当中間期変動額合計	—	—	—	—	1,200,000	△1,134,660	65,339	65,339
当中間期末残高	3,420,000	1,500,000	1,500,000	74,040	10,005,000	1,316,350	11,395,390	16,315,390

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	38,026	38,026	16,288,077
当中間期変動額			
剰余金の配当			△1,191,355
別途積立金の積立			—
中間純利益			1,256,694
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	5,416	5,416	5,416
当中間期変動額合計	5,416	5,416	70,755
当中間期末残高	43,443	43,443	16,358,833

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、建物（附属設備を除く。）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5～50年

器具備品 3～15年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

商標権 10年

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(3) 役員退任慰労引当金

役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

注記事項

（中間貸借対照表関係）

第27期中間会計期間 (2019年9月30日)	
※ 1 有形固定資産の減価償却累計額	206,534千円

（中間損益計算書関係）

第27期中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	
※ 1 減価償却実施額	
有形固定資産	14,945千円
無形固定資産	335千円
※ 2 営業外収益の主要項目	
受取配当金	4,282千円
有価証券利息	3,183千円
受取利息	38千円
投資信託売却益	94千円
投資信託償還益	81千円
※ 3 営業外費用の主要項目	
支払利息	1,509千円
投資信託売却損	625千円
※ 4 特別損失の主要項目	
固定資産除却損	13千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当中間会計期間 増加	当中間会計期間 減少	当中間会計期間末
普通株式（株）	38,400	—	—	38,400
A種種類株式（株）	15,000	—	—	15,000
合 計（株）	53,400	—	—	53,400

2. 配当に関する事項

(1)配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基 準 日	効力発生日
2019年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,170,355	30,478	2019年3月31日	2019年6月25日
	A種種類株式	21,000	1,400	2019年3月31日	2019年6月25日

(2)基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(金融商品関係)

第27期中間会計期間（2019年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）をご参照ください。）。

(単位：千円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	10,077,886	10,077,886	—
(2)未収委託者報酬	1,888,038	1,888,038	—
(3)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	1,081,195	1,081,195	—
(4)その他の関係会社有価証券（※） 満期保有目的の債券	4,500,000	4,508,325	8,325
資産計	17,547,120	17,555,445	8,325

（※）1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

（注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(2)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)有価証券及び投資有価証券

投資信託の時価は、基準価額によっております。

(4)その他の関係会社有価証券

金融債の時価は、取引金融機関の提示する参考時価情報によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

該当事項はありません。

(有価証券関係)

第27期中間会計期間（2019年9月30日）

1. 満期保有目的の債券

(単位：千円)

	種類	中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	4,500,000	4,508,325	8,325
	小計	4,500,000	4,508,325	8,325
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	—	—	—
	小計	—	—	—
合計		4,500,000	4,508,325	8,325

2. その他有価証券

(単位：千円)

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	472,779	366,285	106,493
	小計	472,779	366,285	106,493
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	608,416	651,349	△42,932
	小計	608,416	651,349	△42,932
合計		1,081,195	1,017,634	63,560

(注) 時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があると判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当中間会計期間末の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当中間会計期間末においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

(デリバティブ取引関係)

第27期中間会計期間（2019年9月30日）

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

本社は、不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。

当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当中間会計期間の負担に属する金額を営業費用に計上しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は中間損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	ケイマン	合計
4,250,242	454,193	4,704,435

(注) 営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	937,728	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	664,174	投資運用業
State Street Cayman Trust Company, Ltd.	307,832	投資運用業

(注) 営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

第27期中間会計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第27期中間会計期間 (2019年9月30日)
1株当たり純資産額	347,886円28銭
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額（千円）	16,358,833
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	3,000,000
（うちA種種類株式払込金額）（千円）	(3,000,000)
普通株式に係る中間期末の純資産額（千円）	13,358,833
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末の 普通株式の数（株）	38,400

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第27期中間会計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
1株当たり中間純利益金額	32,726円41銭
(算定上の基礎)	
中間純利益金額（千円）	1,256,694
普通株主に帰属しない金額（千円）	—
普通株式に係る中間純利益金額（千円）	1,256,694
普通株式の期中平均株式数（株）	38,400

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- ① 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ② 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- ③ 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等（委託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下④⑤において同じ。）又は子法人等（委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- ④ 委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- ⑤ 上記③④に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

- （１）定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項について
該当事項はありません。

- （２）訴訟事件その他の重要事項

本書提出日現在、委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または、与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

（1）受託者

① 名称

三菱UFJ信託銀行株式会社

② 資本金の額（2019年3月末日現在）

324,279百万円

③ 事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概況>

① 名称

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

② 資本金の額（2019年3月末日現在）

10,000百万円

③ 事業の内容

銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

（2）販売会社

①名称	②資本金の額(単位：百万円) (2019年3月末日現在)	③事業の内容
農林中央金庫	4,040,198	全国の農業協同組合、漁業協同組合、森林組合などの協同組織の全国金融機関として、余裕資金の効率運用と資金の需給調整、当該協同組織の信用力の維持向上及び業務機能の補完を図っています。
北海道信用農業協同組合連合会	96,273※	農業協同組合法に基づき信用事業等を営んでおります。
岩手県信用農業協同組合連合会	19,463※	
茨城県信用農業協同組合連合会	25,549※	
埼玉県信用農業協同組合連合会	139,440※	
東京都信用農業協同組合連合会	78,204※	
神奈川県信用農業協同組合連合会	194,885※	
長野県信用農業協同組合連合会	54,858※	
新潟県信用農業協同組合連合会	56,296※	
石川県信用農業協同組合連合会	17,468※	
岐阜県信用農業協同組合連合会	70,118※	
静岡県信用農業協同組合連合会	111,302※	
愛知県信用農業協同組合連合会	198,402※	
三重県信用農業協同組合連合会	39,124※	
福井県信用農業協同組合連合会	23,372※	
滋賀県信用農業協同組合連合会	34,697※	
京都府信用農業協同組合連合会	32,681※	
大阪府信用農業協同組合連合会	140,690※	
兵庫県信用農業協同組合連合会	170,546※	
和歌山県信用農業協同組合連合会	51,799※	
広島県信用農業協同組合連合会	80,200※	

山口県信用農業協同組合連合会	35,542※
徳島県信用農業協同組合連合会	32,546※
香川県信用農業協同組合連合会	27,537※
高知県信用農業協同組合連合会	19,870※
福岡県信用農業協同組合連合会	32,382※
佐賀県信用農業協同組合連合会	28,130※
大分県信用農業協同組合連合会	15,599※
宮崎県信用農業協同組合連合会	20,036※
岩手中央農業協同組合	4,441※
岩手江刺農業協同組合	2,370※
仙台農業協同組合	3,434※
みやぎ亘理農業協同組合	1,554※
みやぎ登米農業協同組合	6,459※
新みやぎ農業協同組合	2,941※
いしのまき農業協同組合	4,497※
みやぎ仙南農業協同組合	4,041※
秋田しんせい農業協同組合	5,632※
山形農業協同組合	4,080※
さがえ西村山農業協同組合	3,757※
山形おきたま農業協同組合	4,965※
鶴岡市農業協同組合	1,488※
庄内たがわ農業協同組合	4,381※
ふくしま未来農業協同組合	15,932※
福島さくら農業協同組合	8,676※
水戸農業協同組合	3,197※
茨城みなみ農業協同組合	1,215※
北つくば農業協同組合	3,382※
はが野農業協同組合	3,648※
那須南農業協同組合	1,157※
前橋市農業協同組合	4,163※
高崎市農業協同組合	2,001※
佐波伊勢崎農業協同組合	2,545※
さいたま農業協同組合	8,181※
あさか野農業協同組合	871※
いるま野農業協同組合	5,963※
埼玉中央農業協同組合	2,335※
くまがや農業協同組合	2,768※
ほくさい農業協同組合	3,181※
越谷市農業協同組合	1,568※
南彩農業協同組合	2,847※
埼玉みずほ農業協同組合	1,437※
さいかつ農業協同組合	1,864※
ふかや農業協同組合	1,613※
市川市農業協同組合	3,358※
横浜農業協同組合	12,402※
セレサ川崎農業協同組合	2,516※
よこすか葉山農業協同組合	1,454※
さがみ農業協同組合	5,363※

湘南農業協同組合	1,998※
秦野市農業協同組合	1,775※
かながわ西湘農業協同組合	2,531※
厚木市農業協同組合	2,589※
相模原市農業協同組合	881※
神奈川つくい農業協同組合	850※
長野八ヶ岳農業協同組合	4,279※
佐久浅間農業協同組合	6,627※
信州うえだ農業協同組合	4,273※
信州諏訪農業協同組合	6,454※
上伊那農業協同組合	8,124※
みなみ信州農業協同組合	4,519※
松本ハイランド農業協同組合	6,213※
塩尻市農業協同組合	1,568※
あづみ農業協同組合	4,238※
大北農業協同組合	3,263※
グリーン長野農業協同組合	3,699※
中野市農業協同組合	2,504※
ながの農業協同組合	12,921※
北越後農業協同組合	3,088※
胎内市農業協同組合	1,330※
新潟みらい農業協同組合	4,830※
新津さつき農業協同組合	1,596※
越後中央農業協同組合	5,313※
にいがた南蒲農業協同組合	4,950※
越後ながおか農業協同組合	5,506※
越後おぢや農業協同組合	2,421※
北魚沼農業協同組合	2,744※
十日町農業協同組合	2,815※
柏崎農業協同組合	3,489※
えちご上越農業協同組合	7,920※
ひすい農業協同組合	1,264※
にいがた岩船農業協同組合	2,498※
佐渡農業協同組合	2,505※
新潟市農業協同組合	3,055※
加賀農業協同組合	1,966※
小松市農業協同組合	1,744※
能美農業協同組合	1,249※
金沢中央農業協同組合	1,058※
金沢市農業協同組合	3,158※
石川かほく農業協同組合	1,887※
はくい農業協同組合	1,340※
能登わかば農業協同組合	2,667※
おおぞら農業協同組合	1,217※
ぎふ農業協同組合	7,218※
西美濃農業協同組合	4,658※
いび川農業協同組合	2,073※
めぐみの農業協同組合	4,704※

陶都信用農業協同組合	1,607※
東美濃農業協同組合	2,624※
飛騨農業協同組合	6,368※
伊豆太陽農業協同組合	1,818※
三島函南農業協同組合	1,049※
伊豆の国農業協同組合	913※
あいら伊豆農業協同組合	915※
南駿農業協同組合	3,158※
御殿場農業協同組合	1,234※
富士市農業協同組合	1,492※
富士宮農業協同組合	945※
清水農業協同組合	2,981※
静岡市農業協同組合	1,902※
大井川農業協同組合	3,433※
ハイナン農業協同組合	857※
掛川市農業協同組合	746※
遠州夢咲農業協同組合	3,579※
遠州中央農業協同組合	3,301※
とぴあ浜松農業協同組合	3,715※
三ヶ日町農業協同組合	297※
なごや農業協同組合	2,454※
尾張中央農業協同組合	2,118※
西春日井農業協同組合	157※
あいち尾東農業協同組合	1,192※
愛知北農業協同組合	747※
愛知西農業協同組合	1,617※
あいち海部農業協同組合	1,070※
あいち知多農業協同組合	7,183※
あいち中央農業協同組合	3,468※
西三河農業協同組合	1,301※
あいち三河農業協同組合	1,114※
あいち豊田農業協同組合	1,809※
愛知東農業協同組合	971※
蒲郡市農業協同組合	296※
ひまわり農業協同組合	1,410※
愛知みなみ農業協同組合	1,346※
豊橋農業協同組合	2,515※
三重北農業協同組合	6,208※
鈴鹿農業協同組合	1,628※
津安芸農業協同組合	2,189※
伊勢農業協同組合	4,367※
伊賀ふるさと農業協同組合	2,846※
おうみ富士農業協同組合	2,470※
甲賀農業協同組合	2,478※
グリーン近江農業協同組合	4,432※
東びわこ農業協同組合	3,480※
北びわこ農業協同組合	1,934※
北大阪農業協同組合	1,887※

茨木市農業協同組合	1,237※
大阪泉州農業協同組合	2,009※
いずみの農業協同組合	2,884※
堺市農業協同組合	1,187※
大阪南農業協同組合	3,822※
グリーン大阪農業協同組合	1,507※
大阪中河内農業協同組合	4,263※
北河内農業協同組合	2,635※
大阪市農業協同組合	1,919※
兵庫六甲農業協同組合	5,831※
あかし農業協同組合	423※
兵庫南農業協同組合	3,763※
みのり農業協同組合	4,439※
兵庫みらい農業協同組合	3,483※
加古川市南農業協同組合	527※
兵庫西農業協同組合	12,416※
相生市農業協同組合	101※
ハリマ農業協同組合	968※
たじま農業協同組合	4,526※
丹波ひかみ農業協同組合	2,286※
丹波ささやま農業協同組合	2,200※
淡路日の出農業協同組合	1,879※
あわじ島農業協同組合	3,970※
奈良県農業協同組合	9,389※
わかやま農業協同組合	4,466※
ながみね農業協同組合	2,006※
紀の里農業協同組合	3,586※
紀北川上農業協同組合	4,269※
ありだ農業協同組合	2,098※
紀州農業協同組合	3,667※
紀南農業協同組合	4,717※
みくまの農業協同組合	1,002※
鳥取いなば農業協同組合	6,061※
鳥取中央農業協同組合	3,875※
鳥取西部農業協同組合	5,133※
島根県農業協同組合	22,681※
広島市農業協同組合	6,724※
佐伯中央農業協同組合	1,286※
広島中央農業協同組合	3,067※
福山市農業協同組合	5,798※
三次農業協同組合	1,879※
山口県農業協同組合	2,362※
徳島市農業協同組合	3,026※
香川県農業協同組合	26,469※
越智今治農業協同組合	6,417※
高知市農業協同組合	4,109※
高知県農業協同組合	1,565※
福岡八女農業協同組合	3,556※

宮崎中央農業協同組合	5,828※
延岡農業協同組合	1,469※
沖縄県農業協同組合	22,037※
マインズ農業協同組合	1,795※
県央愛川農業協同組合	510※
越前たけふ農業協同組合	2,762※
岡山西農業協同組合	7,416※
倉敷かさや農業協同組合	2,366※
黒部市農業協同組合	1,307※
山武郡市農業協同組合	4,778※

※出資金の額

2【関係業務の概要】

（1）受託者

当証券投資信託契約の受託者として、委託者との信託契約の締結、信託財産の保管・管理・計算業務を行います。

なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することができます。

（2）販売会社

当証券投資信託の販売会社として、受益権の募集の取扱い・販売、目論見書および運用報告書の交付、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

なお、農林中央金庫^{（注）}と募集・販売等の取扱い等にかかる契約を締結している取次登録金融機関においても販売会社として上記各業務の全部または一部を行います。

（注）農林中央金庫は、原則として、販売会社としての業務は行っておりません。

3【資本関係】

農林中央金庫は委託者が発行する普通株式を保有しており、持株比率は36.61%、議決権保有比率は50.91%です。

なお、その他の関係法人と委託者との間には資本関係はありません。

（注）委託者においては普通株式のほか議決権を有しないA種種類株式を発行しているため、持株比率と議決権保有比率が一致しません。

第3【その他】

（1）目論見書の表紙から本文の前までの記載等について

- ①金融商品取引法の規定に基づく目論見書である旨を記載することがあります。
- ②交付目論見書または請求目論見書である旨を記載することがあります。
- ③委託会社等の情報、受託会社に関する情報を記載することがあります。
- ④詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載することがあります。
 - ・委託会社のホームページアドレス、電話番号及び受付時間等
 - ・請求目論見書の入手方法及び投資信託約款が請求目論見書に掲載されている旨
- ⑤使用開始日を記載することがあります。
- ⑥届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載することがあります。
 - ・届出をした日及び当該届出の効力の発生の有無を確認する方法
 - ・届出をした日、届出が効力を生じている旨及び効力発生日
- ⑦次の事項を記載することがあります。
 - ・投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨
 - ・請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨及び当該請求を行った場合にはその旨の記録をしておくべきである旨
 - ・「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載
 - ・ファンドの内容に関して重大な変更を行う場合には、投信法に基づき事前に投資者の意向を確認する旨
 - ・投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金（貯金）保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨
 - ・投資信託は元本が保証されているものではなく、投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入されたお客様に負っていただく旨
 - ・登録金融機関の販売の場合には、投資者保護基金の対象とはならない旨
 - ・課税上の取扱いに関する事項
- ⑧委託会社、当ファンドのロゴ・マーク等を記載することがあります。
- ⑨ファンドの形態等を記載することがあります。
- ⑩図案を採用することがあります。

（2）目論見書は別称として「投資信託説明書」と称して使用することがあります。

（3）交付目論見書にクーリング・オフに関する事項を記載することがあります。

（4）目論見書は電子媒体等として使用される他、インターネット等に掲載される場合があります。

（5）請求目論見書に当ファンドの投資信託約款の全文を記載します。

独立監査人の監査報告書

2019年6月21日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	細野 和也	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	長尾 充洋	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの第26期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年1月8日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 佐々木 貴 司
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 久 保 直 毅
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0の2018年11月16日から2019年11月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金＜パートナーズ＞つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0の2019年11月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2019年12月13日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	細 野 和 也 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	長 尾 充 洋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの第27期事業年度の中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1.上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2.XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。